

2. アンケート自由記載項目

保護者の食育に対する意見

市に対する意見	
保育所・幼稚園保護者	簡単にできる朝御飯のメニューや給食で好評の献立のレシピなどを教えて欲しい。和食で子どもの好む献立を教えて欲しい。地元の食材が手に入りやすくなるような環境を作って欲しい。子どもに農作業のお手伝いをさせて欲しい。
	食物アレルギーの子がいるので、除去食のメニューとかを教えて欲しい。でも仕事をしているので、平日とかは無理ですし、難しいですね。
	簡単なおやつ作りの講習会や、食育の大切さの講習会などをすればもっとみんな意識するのではないのでしょうか。
	「魚のさばき方教室」を開いて欲しい。避けたほうが良い食品添加物を教えて欲しい。
	親だけ、子どもだけという講義ではなく、親子で楽しく学べるような内容だとうれしいです。食育→農業の充実→市の財政・・・。いろんな所でつながっていると思うのですが、四條畷市は本当に裏金はもうないのですか？市へ対しての裏切りの回数が多いので心配です。食育を進めていただくのは感謝していますが、また裏切られるんだろうなと思っています。
小学校2年生保護者	望ましい食事の情報も大切ですが、なぜそれを実行できないのか？その声に耳を傾ける取り組みが伴うと、より有効だと思います。「そんなこと言うたかてー」「～やから無理や」という気持ちでいっぱいの方は良い情報も取り入れにくいものです。でも「忙しくて現状で手いっぱいと感じているんやね」「料理が嫌いなのに何か食べさせようと毎日頑張っているんやね」と気持ちを受け止めてもらえたら、もう少し頑張ってみようかと前向きになれるのが人間だと思います。行政として、どんな形でその声に耳を傾ける取り組みができるかは、私もすぐに思いつきませんが、一方的によい情報を流すのではなく、うまくいかない人の気持ちを受け止めるような姿勢で活動を考えていかれると、効果があるのではと期待しています。
	医療費削減のために食育をうたうのではなく、子ども達の健康と食の安全に国がもっと取り組まなければ、自給率の低い日本では安全な食品は食べられない。
	「食育」の名のもとに、不必要な事業所や団体へ税金が使われるようであれば、少しでも市民税を安くしていただきますようお願いします。
	家族揃って食べられない状況のおうちが増えていると思う。なので、家族で楽しめるようなイベントを市が取り入れたり、レシピを紹介して欲しい。家族をキーワードに企画して欲しい。
小学校5年生保護者	「食育」という言葉ばかり耳にしますが、もっと食べ物を大切にするなど、人として当たり前のことから始めて欲しいです。
	子どもが食に興味を持てるようなイベントがあるとよい。
	広報に食に関する欄を設けてほしい(野菜料理のレシピなど)。地場産野菜の販売場所等も記載して欲しい。
	食育は各家ごとにするものと思っていましたが、現在では市が乗り出さなければいけない事になっていることに驚きました。
	子ども達や親を集めて、何度もわかりやすい(イラスト等で)勉強会を開いたらよいと思う。必要な栄養素と、それを摂るための簡単なレシピなどの情報提供をして欲しい。

小学校5年生保護者	最近キレる子どもという言葉を目にしますが、このキレることと栄養不足は関連性があるのでは？と思ったりします。キレない子どもを育てていくためにも、市からの情報提供があればいいなと思っています。
	医療費を減らすために食育をうたうのではなく、子ども達の将来のため、安心して暮らしていける社会のために取り組んで欲しいです。格差のない、人を思いやる心を大切に育てられる環境作りをお願いします。
	子どもの食育の教育をすることは大切だが、親の私達が知らないと家庭でも進められないので、教える場を設けたり、パンフレットを配布してはどうか？
	子どもの肥満を改善する食事(栄養素を減らさず、カロリーを抑える)のメニューが知りたい。
	食育という言葉が流行語にして欲しくない。学校・社会問題のたて直しは違う所にあると思います。食事の問題は家庭レベル。各家庭のつながりと学校・地域とのコミュニケーションをとり、私達に役立つ方法でやって欲しい。
	保健センター等で、セミナーのようなものを定期的にもらえたらうれしいです。
	子ども向け食事マナー講座を開いて欲しい。
	簡単手作りおやつや、食育の大切さの講習会などをすれば、もっとみんな意識すると思う。食育に気をつければ将来病気になる体や集中できる頭や、色々な物へとつながり、キレない人間やイライラしない社会を作っていけるとと思っています。
子ども達に野菜を摂らせる工夫を、多くの情報として提供して欲しい。スポーツをしている子どもに大切な食事のアドバイスもあるようですので、惜しみなく情報提供の工夫をして欲しい。	
中学校2年生保護者	食育とは何かをより多くの人を知ることができるような活動を期待しています。
	ギョーザの事件がありましたが、冷凍食品等の加工品については注意していただきたいと思います。地元の食材をもっと多く使用して欲しいと思います。
	物価上昇の折り、食材を思うように購入できない事がある(日本産が外国産より高い)。四條畷市を活性化するためにも、地場産物を手軽に購入できるような機会を是非作って欲しいです。
	四條畷市だよりの中で、バランスのいいメニューコーナーや何かもう少し情報が欲しい。
	他の自治体では、企業から講師を招いて、子ども達が興味を持てる形で取り組んでおられるニュースを見たことがあります。予算など大変かとは思いますが、生きたお金の使い方をしていただきたいと思います。給食センターは立派な設備だとは思いますが、本当の意味では各学校で給食が準備できるまでになればと思います。そうすればアレルギーの子どもへの対応も可能だと思います。また、人気のあるおいしい菓子パンは生徒達には好評でしょうが、同じコストでおかずに重点をおいていただけたらうれしく思います。勝手なことを言って申し訳ありません。
	このアンケートの必要性がわからない。家族で食べること、子どものために手作りをすること、手伝い、作法などは当たり前のことだと思う。愛情があれば苦にならないのが普通だと思う。
	各家庭で考えることであって、行政の介入は不必要
	四條畷市民による地場野菜をもっと近くのスーパーや身近で感じたいし、食べたいです。
現代の大人にとっても「食育」は必要なことだと思います。小さいうちから「食育」を行政の立場からも進めていただくことで、食生活のバランスや栄養面など気遣う大人になれると思います。皆が意識を高く持つことで生産者をはじめ、社会全体の食育に対する意識も高まっていくことを願っています。	

高校生保護者	人に作ったものを食べて喜んでもらうという体験ができる機会を！
	簡単で便利な料理の工夫の広報、食育の講演会
	結果を公表して欲しい。(ホームページ上で)
	給食の大切さを、税金で成り立っていることなどを知らせる。
	食品表示。安全な国産を望む。形より安全
	安全な食材の提供を。添加物等のチェック体制も。
	輸入食品の安全性の管理

学 校 ・ 保 育 所 ・ 幼 稚 園 に 対 す る 意 見

保育所・幼稚園保護者

子ども達に食の大切さを知ってもらうために、学校・保育園・幼稚園での食の時間を作って、わかりやすく話をできる場があればいいと思う。子どもから親へ知れわたったら、食事の献立も変化すると思う。反対に食の怖さも知ったほうがいい(食べなかったらどう影響を及ぼすか等)。

幼稚園・小学校等で、実際に直接栄養士さんが指導してくれるとありがたい。幼児の頃は健診で指導してくれました。

以前通っていたところの子どもの給食の味付けを知りたい。野菜の煮付けもパクパク食べていたそうなので、そのような情報を広報などで特集してくれたらうれしい。

小学校の給食の時間にゆとりがないように思う。そのために「食べられないものは残してもいい」という指導は、学校現場でもう少し食の教育を見直して欲しい。

小学校2年生保護者

小学校でも野菜を育てて調理実習をする取り組みをして欲しい。食べたくても食べられなくて困っている子ども達が同じ地球上にいることを、家以外でも教えて欲しい。

給食で色々な食材を工夫し、食べさせて頂いていることに常日頃感謝しています。学校で食べているのだから夕食は少し手を抜いても・・・と思う日もありますが、子どものためにも今後はまじめに取り組んでいきます。

いつも給食をおかわりして食べていると言っています。家では食べない嫌いな野菜も、みんなと一緒に食べられるみたいです。

低学年から簡単でもいいから自分で作られるように台所に立たせています。オール電化になり、火がつけられない子が多い事にビックリしています。マッチのつけ方の指導も必要なのでは？

学校でも調理実習をして欲しい。

給食メニューの改善を。小おかずも手作りのものを入れて欲しい。

育てて作って食べるという体験実習をもっと取り入れて欲しい。

学校で行事食の意味など、歴史的なことをもっと教えて欲しい。食べ物に対する感謝の気持ちを持てるような教育をもっと行って欲しい。

最近の給食は大変豪華でおいしそうなのが多く、大変助かっております。

給食試食会では給食センターの方のお話を聞くことができとても良かったです。28名で市内約5000人分の給食を作ってらっしゃることを知り、びっくりしました。家で子どもにも話をしましたが、食べ物を残すのは申し訳ないと思ったようです。食べることを通じて色々な人が関わりあっていることを、食料が豊かな時代だからこそ知っておいて欲しいと思います。子どもだけではなく、親がそういう意識を持たねばならないと思います。

本当かはわかりませんが、中学校の給食をなくすかもと聞きました。飽食で何でも自由に食べるようになった現代こそ、学校給食を通じて学ぶべきことがたくさんあると思います。給食費の未納など、市としては頭の痛い問題もたくさんあるかとは思いますが、四條畷市には中学にも給食がある、食育に力を入れている、ということ胸を張って自慢できる、そうあってもらえたらと思います。

食べることは何よりも大切だと考えます。食を通じてのコミュニケーションで子どもの心と体を作ることが最も重要なので、親として安全で安心の食事を作りたいです。栄養の勉強もしたいし、やっていきたい。スナック菓子も食べますが、手作りクッキーなど親子で作って楽しんでいます。栄養学を学んだ方が講義をしてくれて、簡単な手料理を教えてくださいなれば嬉しいです。

子どもは学校で聞いたことや、行動したことについて、色々教えてください。食についても興味のわくようなことを教えていただければ、本人も関心を持ち、食に対して意識することだと思います。学校で野菜を育てて収穫し、食べることをしていますが、とても良いことだと思います。そんな取り組みを広げていただければと思います。家でも野菜を食べさせる時にその野菜の栄養について話す時があります。

小学校低学年の学校給食で、毎日、ご飯が余っていて処分されていると聞きました。適正な分量が各クラスに分けられているかとは思いますが、どれくらいの分量が捨てられているか調査をし、摂取量が足りない分量になるかもしれませんが、各クラスに配られる分量を少なくする事も検討していただきたいと思います。

給食が残って捨ててしまうという事を聞きましたが、もったいない気がします。衛生的に問題があるのかもしれませんが、パン等持って帰れるものは持って帰ってもよいのではないのでしょうか？

幼稚園では熱心に食育に取り組んでいたが、学校ではあまり食育に取り組んでいるような印象を受けておりません。もう少し熱心さが伝わるような形にしていきたい。

食事をする時、ごはん、おかず、小学校・中学校の給食がメニューによって違いがあると思いますが、残ったものはどう処分されているのですか？嫌いと分かっているけど、時間をかけて泣いてでも最後まで食べさせています。栄養のバランスとかでなく出されたものは全部食べなさいと教えています。

最近はお金さえだせば簡単にご飯を食べることができるため、子ども達の中に「ありがたみ」の意識がない。おかずを残したり、好き嫌いをしたりなど。例えば白ご飯が食卓にのぼるまでには大変な苦勞があって、多くの人が汗を流していることを学校で教えてもらったり体験させたりして欲しい。

私は現在小学校で配膳員として勤務させていただいております。日々感じることは“食べない子のケア”です。1人1人食べられない理由がそれぞれあると思います。その子どものケアをしっかりしていけば周囲にも良い影響があるのではと思います。担任の先生任せにせず、その子達にしっかりケアできる人を給食時に巡回させ、少しでも食べられる子にすれば、給食も有効で、かつ残飯問題も解決できるのではと思います。

給食をなくす方向にあるようですが、ちゃんと気をつけてもらっている子どもは(栄養バランス等)良いと思いますが、唯一給食だけがまともだという子どもも多いと思います。本当に子どものためを思うのであれば、給食廃止はおかしいと思います。

先日給食センターの見学に行ってきました。給食がいかに安全・安心かがよくわかりました。残念ながら食べ残しがとても多いとのこと。特にひじき等、口にしたことがないおかずは残量が多いと聞きました。食品がどのように食卓に届くのか世界の食糧事情などから食べられることのありがたさを伝えて教えていけば、自然とバランスのよい食事(給食)をとることにつながるのではないのでしょうか？我が家では嫌いなものや初めてのものでも“一口だけは食べる”というルールで好き嫌いを克服しています。

授業で食物の必要性について学年に応じて指導してほしい。

地場産物の使用をアンケートをきっかけに知りました。「安全でおいしいもの」を食することができるのは、親も安心できますし、子どもの成長・発育にもよいと思います。農業体験などを学校で多く取り入れていただければと思います。

食品の生産地、加工地について給食においても注意を払って欲しい。

給食に食育を考えたメニューをお願いします。(食材は地場産や国産をすべて使うことによって野菜の産地など勉強できるため)

子ども達の給食の材料は、今までどおり安心・安全なものでお願いします。

野菜嫌いな子どもに適したメニューを教えて欲しい。残菜の多い給食は再検討

小学校での調理実習がたくさんあると子ども達も楽しいし、食べ物の大切さを学ぶ良い機会
給食時間が短い。落ち着いて食べる場を。

食べることの大切さを子どもに教えて欲しい。

子ども達を中心に好きな物だけを食べているとどうなるか・・・、お菓子・ジュース・カップ麺を食べすぎるとどうなるのか・・・など教えて欲しいです。

学校の給食でパンや牛乳を平気で残せるというのは良くないと思います。パンも牛乳も一口食べればOKというのもどうでしょう。自分のために出されたものは責任を持って全部しっかり食べさせる教育を見直して欲しいです。

学校の給食は本当にありがたく、大事に思っています。多少給食費が上がっても、ずっと続けて欲しいです。学校の友達や先生と一緒に食べること、用意したり片付けたり、学ぶことも多いと思います。このまま続けていただくよう是非お願いします。

学校の給食が多く残されていると聞きました。とても残念です。昔のように、強制的に食べさせていただきたいです。

給食でアレルギーのある児童に対応していないので、給食の楽しみやおいしさはどの子にも経験させたい。是非「食育」を推進するのであれば、学校給食の食育や個々に合わせた様々な支援や配慮を市として進めていただきたいと思います。

中学校での給食も是非存続してください。育ち盛りの中学生在がバランスのとれた給食を食べられることは、四條畷の誇れるところだと思います。

体験(作物を作る・収穫)を多くして欲しい。社会見学(食品工場等)を工夫して欲しい。

先日学校で「給食参観」があり、各クラスを見てまわったんですが、ご飯の食べ残し(・・・というより全員によそった後の残り)があまりに多く、とてもショックを受けました。1人あたりの量が決まっていて各クラスに配っているはずなのに、あれほど残ってしまうのには何とかならないのでしょうか？もう少しクラス単位でも徹底して食べ物の大切さを教えなければならないのでは？

牛乳は体に悪いという話を聞きました。カルシウムはほとんど排泄され、骨粗しょう症にもなりやすくなるそうです。3大疾患の原因にもなり、キレる子どもや落ち着きのない子どもになる原因も牛乳だそうです。戦後、アメリカの乳業会社を儲けさせるために勧められた牛乳を今も子ども達に毎日飲ませていると思うとぞっとします。好きだから飲むのと体に良いから飲むのでは意味が全然違うと思います。カルシウムは野菜・海藻・魚にたくさん含まれています。牛乳はできれば廃止して欲しいです。できなくても検討はしてください。間違っていることを子どもに教えないでください。

	<p>物価が上がりなかなか大変だとは思いますが、これからも給食をよろしくお願いします。子どもたちの健康のためこれからもよろしくお願いします。(給食費、少しぐらい上がってもいいので)家庭科の調理で興味を持って欲しい。</p>
<p>中学校 2年生 保護者</p>	<p>給食の牛乳が冷たくないと言っています。衛生面・食欲面の上でも、改善していただければと思います。</p>
	<p>給食のバランスを考えていただきたい。給食費を払えない人からは必ずもらって欲しい。質・量・味の向上、バラエティーに富んだ給食、子どもが待ち遠しい給食。</p>
	<p>我が家は母子家庭です。学校給食があるおかげで助かっています。バランスのとれた昼食を食べさせてもらい、安心して働くことができると思っています。</p>
	<p>学校給食で子ども達が給食を楽しみにできるよう、メニューへの工夫をして欲しいと思います。我が子はとても給食を喜んでいますが、喜んでいない子もいるので。</p>
	<p>環境を含めた現実を理解できるように教えてあげて欲しい。</p>
	<p>給食をずっと続けて欲しい。</p>
	<p>学校での給食の時間が短いことがあるようで、よく噛むこともできず、まして楽しむというより、急いで食べる時があるのが気になっています。よく噛まなければ消化にも悪いし、栄養につながらないと思うので、「食育」を考えるにあたって各学校のありかた等、ご検討ください。</p>
	<p>子ども達がものを食べることに感謝し、もったいないという気持ちを持ち、食べるということが楽しいと感じて欲しいと思います。四條畷市の献立にはなぜこのメニューなのかと首をかしげたくなるような時が多々あります。品数もドレッシング・ジャム類が一品に数えられており、実際の量はかなり少なく、品数も少なすぎると思います。(他市に比べて)</p>
	<p>小学校・中学校に通っている間は給食で、昼食は安心。6時頃仕事から帰ってくると、クラブ帰りの子どもとほぼ同じ時間になり、お腹がすいたと言われる。帰ってきたばかりで何もなかったため、ついインスタント食品に頼ってしまう。夕食メニューもパターン化し、休日もなかなか時間を作れないことがある。(言い訳ですが)</p>
	<p>特に給食など、誰が作っているものなのか、感謝して食べるといいですね。</p>

その他の食育についての意見

保育所・幼稚園保護者	<p>地場産物がもっと簡単に手に入るようになればと思います。</p>
	<p>各家庭でのしつけや食事を作る人の考え(食事マナーやバランスなど)をきちんとしないと、食育は進めにくいのでは？</p>
	<p>実際に野菜等がどのようにできるか見せる。</p>
	<p>子どもには、正しい食生活は健康な体を作るのに大切なことだと思います。外食にすると、あまり野菜がとれないので好きではありません。</p>
	<p>子どものために色々頑張っています。礼儀やマナーは身につくものなので、癖にならないように気をつけています。バランスよく毎日手料理でやっていきたいと思っています。</p>
	<p>食事のメニューがパターン化しています。もっと新しいおしゃれなメニューなどを教えてもらえたら助かります。</p>
小学校2年生保護者	<p>食事がコンビニや出来合いのものばかり食べていると、体にもよくないし、子どもは特に親の愛情が感じられなかったりして、心にもよくないと思うので、子どもには給食やお弁当の際に、少しずつ食育を取り入れるようにしたり、親には懇談の時に話の中に取り入れるようにするなど。</p>
	<p>父親も自然の流れで食育に関心を持って取り組めるようにもしていただけると、母親はありがたいと思います。</p>
	<p>栄養バランスや食べないと健康な体を作れないということだけでなく、「食べる=命」という尊い部分の教育も大切だと思う。</p>
	<p>楽しく食べたいけれどしつけも大切。楽しくしつけながら食べられるよい方法があればいつも思います。</p>
	<p>多くの食品に添加物が使われているので、正しい知識を身につけ、よく選んで購入したいと思う。食の安全について子どもにきちんと教えていきたいと思う。</p>
	<p>各家庭で気をつけないことには食育は進まないでしょう。料理を作る人(母親など)への指導が必要なのでは？</p>
	<p>子どもには、まず朝御飯を食べさせるのが、とりあえず一番大事なのではないかと思います。</p>
	<p>食育の基本は家庭だと思います。学校でしていただくことはもちろん有難いですが、保護者教育が必要かなと思います。</p>
	<p>太るのを気にして食べない。</p>
	<p>子どもの食事はすごく気になります。子どもの好き嫌いが多いため、調理を工夫したりしてはいるのですが、なかなか食べてくれません。子ども達が見てもわかるような栄養成分表などがあれば、少しは考えて食べてくれるのではと思うのですが。</p>
<p>食育はしないよりしたほうが良いと思うが、基本的には「出されたものをしっかり残さず食べる」でいいと思っている。子ども用の調理器を作ってまで調理参加は過度のように思う。生活の中で成長過程で、豆のすじ取りから始まり、後々包丁を使って手伝ってもらいたいと思うし、私はそうしていこうと思っている。</p>	
<p>私自身食べるのが好きなので、子どもも食事の時間を楽しみにしています。子どもにこのお野菜はビタミンCがいっぱい入っていてお肌にいいとか、ひじきを食べたら髪の毛がツヤツヤとか話すと、すごく興味を持ち、「これは何がいっぱい入っているの？」などと聞いてきます。食べることが生きていくことに直接つながることを小さい頃から意識させるのは大切だと思います。</p>	

<p>小学校2年生保護者</p>	<p>色々な食材(特に旬のもの)を食べたいので、その調理法を学びたい。</p> <p>みんなで食事をとれることが時々でもあれば良いと思う。子どもや老人が食を通してコミュニケーションをとれたら、地域への活性化にもつながるし、子どもも老人から色々なことを学べていいと思う。</p> <p>「食育」の一言では、学び・実行できないと思います。食事を作る人(主に母親)の毎日の余裕のなさがすべてに影響しているようです。今、子どもを持つ母親は毎日の生活に疲れ、夫婦仲にも疲れ、その中で成長している子ども達に悪影響を与えていることに気づいていないことがとても残念でなりません。</p> <p>まず母親の食の知識が重要。</p> <p>食育が必要とされるのは、カップ麺などを平気で食べさせる母親にということで、ほとんどの母親はできていると思います。沖縄の方では、マクドナルドが小学校で食育をしたそうですが、それはちょっと違うと思います。</p>
<p>小学校5年生保護者</p>	<p>出来るだけインスタントのものは避けたいと思っていますが、仕事を持っているため時間がない時が多いので、手早く栄養のあるものが簡単にできるように考え、食事作りをしていきたいと思っています。</p> <p>食で心を豊かにする。楽しく食事をすることが大切。</p> <p>野菜をたくさん食べてくれるとうれしいのですが、これからも楽しく色々なものを食べてくれるよう親として努力していきたい。</p> <p>個々の食材が人間の体の働きにどのように働くか、農薬や家畜が食べているものや薬が人間にどのような影響があるのか、自分で野菜を栽培し作ることも必要。</p> <p>安全なものが安く手に入る国に。大人が正しい知識を理解して子どもに伝える。</p> <p>食品の産地等の記載事項が信用できるようになることが大切。</p> <p>安すぎる商品は安全かどうか心配だが、経済的な理由から一番に切り詰めるのは食費なので難しい。子どもの習い事で夕食の時間が遅くなり、食事をゆっくりとることが少なくなった。</p> <p>嫌いなものも一口食べることが大切。</p> <p>原点に戻り、日本人に合っている食事がどのようなものであったか見直す必要があります。</p> <p>当たり前のことと思って行っていることも、アンケートの問題になっているということは、そうでなくなっていることが多くあるんだなあと思いました。ある程度年齢を重ねないと、好き嫌いをなく食事することは難しいと思いますが、子どもの頃から知識があれば、自然と色々なものを食べないといけないと意識できると思います。</p> <p>「食育」と聞いただけでピンとこなかったり、関心がないのが現状だと思うので、いろんな場面で生活に浸透していくような活動を期待しています。</p> <p>私は祖母と同居しておりました。祖母がまだ若い頃は梅干を漬けたり、大根を干して沢庵を作ったりしており、それをそばで見ても育ちました。自分自身勉強や仕事など効率を求められる世界にどっぷりつかって、大事なことを忘れていたように思います。最近はお菓子やパンを手作りし、時々子ども達に手伝わせたりして楽しむようになりました。</p>

<p>小学校5年生保護者</p>	<p>3人の子どもがいます。みんな暇幼稚園に通いました。園では子ども達自身で野菜を育て、収穫し、調理をしていました。上の2人は家でも野菜を育てたいと、大きくなった野菜を見るのが楽しくて、明日食べられるなあと嬉しそうに話しているのを見るのが嬉しいです。</p>
	<p>忙しくても作る時間がなくても、なるべく家で料理します。たとえ残り物の野菜炒めでも、なんとなく家の味がするからです。</p>
	<p>夕食についてとり上げて欲しい。遅くに食べてすぐに就寝しないとか、入浴時間との関係とか、子どものうちから認識させたい。輸入品の安全性・農薬・食中毒など、目に見えない事柄についても関心を持って欲しい。</p>
	<p>簡単にできるレシピを教えて欲しいです。「我が家のレシピ紹介」なんかもしてください。</p>
	<p>食育を考えるのも気持ちや余裕が必要。目が回るほど忙しく余裕がないが、健康のためしっかり食べさせることが第一と規則正しく生活している。育児に時間がとれるような生活をするのが根本。日々、四苦八苦の母子の生活では食育どころか生き延びるので精一杯。</p>
	<p>栄養面も大切だが、食べる時のマナーを教える必要あり</p>
<p>中学校2年生保護者</p>	<p>炭酸やアイスが大好きで、よく食べたり飲んだりします。良くないのではないかと気になっていますが、具体的に何がダメなのか子どもに聞かれるとうまく答えられません。</p>
	<p>新鮮な材料を料理したりして、よりいっそうおいしくして食べるよう心がけている。</p>
	<p>ネギや大根、リーフレタス、トマト、バジルなど、自分で育てる喜びと食べる喜びを実行しています。</p>
	<p>食に関する偽装事件が色々あり、今まで信用していた食材が不安だらけになり、頭が痛くなりました。中国産のものは絶対買わないようにしています。何軒かあるスーパーで、新鮮なものを目で確かめて使い分けをしています。日本だけでは食材はまかなえないので本当に苦労します。生産者も信用のあるのを作って店に出して欲しいものです。</p>
	<p>私自身が考える食育は、どんなに忙しくても手料理を子ども達に食べさせること。唯一、子ども達に対する愛情だと思います。</p>
	<p>なるべく中国産のものや農薬をあまり使っていないものを子どもには与えたい。親の目の届くところではやっているが、給食・外食が心配です。</p>
	<p>お茶碗のご飯粒をきれいに最後まで食べること。</p>
	<p>私の知っている限りのお母さん方は本当によく働く。お金持ちではないし、生活が少しでも楽になればと思い、あいてる時間を労働にかえて収入を増やす。と同時に疲れも増え、時間もなくなる。「じゃあピザとる？コンビニ行く？ファミレス行く？」と話はなり、それはそれで子どもは喜ぶ。親も子どもが喜ぶと自己満足で片付ける。24時間営業の店がはやっているのは、今の食生活を表していると思う。</p>
<p>家族で食事を楽しくとれるように、日々おいしいと思ってもらえるようなご飯を作り続けていきたいです。食事はコミュニケーションをとれる時間なので、みんなが揃って食べられるようにしたいです。</p>	
<p>親世代（30～40代）が、食育に興味を持っていない人が多いように思います。「もったいない」意識が薄く、子どものしつけを責任を持って望んでいる人が周囲にあまりいないなあと感じています。親の責任によるところが多いので、私達の自覚が何より大切だと思います。</p>	

中 学 校 2 年 生 保 護 者	ジュースやスナック菓子に含む砂糖と塩分の量を目で見てわかるように表したり、カロリーは茶碗1杯ごはんで表示するなど、幼い時から摂りすぎは体に悪いということと、病気の怖さを伝える必要があると思う。
	素食が一番。今は食べ物がたくさんある。(特に日本は) いずれは自給自足の生活がくると思う。自分で考えていかなければならない。
	料理をするのが好きな人はだいたい食べることも好きです。親子で好物のメニューと一緒に料理すると子どももとても楽しんで料理に興味を持ちます。コミュニケーションもとれますし、まさしく食育ですね。
	子どもが大きくなると、塾などで一緒に食べるのが少なくなっています。1人で食べなければならない時はできるだけ一緒にテーブルに座るように心がけています。栄養のことも少し知っているのですが、バランスに気をつけていますが、実際これでいいのか1週間分くらいのメニューで診断してもらえるとよいと思います。
	私も仕事をしています。忙しいからといって添加物だらけのものを買って、おなかが満たされればいいやってるから、心が病んでいく子どもが増えるんだなと最近つくづく思います。手が込んでいなくても家族みんなで食事をしていれば大丈夫と聞きました。
	食事の時にはその日の出来事や家族に聞いて欲しいことなど、それぞれ思い思いに話して、会話がはずんだり、時には衝突したりと習い事や仕事でみんな顔を合わせる時間が限られているので、貴重なひとときと考えています。「家族揃っての食事」を重要視しています。
食育だけをしていれば子どもは大丈夫と思っている人もいます。食育も含めてとの考え方になって、よりよい子ども達にとって安全な社会になってほしいです。(食育を手作りの食事くらいにしか思っていない人もいますから)	

【保育所・幼稚園の保護者に対するアンケート】問13自由記載のまとめ

<p style="text-align: center;">お子さんの食事に関して気になること</p>
<p>野菜など柔らかいものが大好きなのですが、お肉など硬いものが苦手でなかなか飲み込めない時がある。お魚は大好きなのですが、お肉を食べなくてもちゃんと成長できるんでしょうかと心配です。(あごの成長とかで)</p>
<p>おかずとごはんをバランスよく食べられないこと。嫌いなものを後に回すので、食べ終わりが非常に遅いこと。これは直りませんか？ひどい時には2時間は座っています。</p>
<p>栄養バランスがあまりよくないと思う。</p>
<p>食べ物に対する感謝の気持ちが少しかけている様な気がします。家でも教えているつもりなのですが、甘えがあるのかあまり伝わっていない気がします。保育所でも食べ物に対するお話をたくさんしてもらいたいと思います。</p>
<p>小さい時から“食べる”事が嫌いな子で困っています。子どもが喜ぶものはほとんど食べません(甘いもの、あめ、チョコ・バニラ以外のアイスクリーム、りんごジュースやヤクルト以外の飲料水など)。今はご飯の時の“イヤイヤ”食べる態度に少しおこりながら食事しています！</p>
<p>食事中、おもちゃが気になるのか、そればかりいじって、食が進まず、注意すると食べるのですが、またしばらくすると遊び、うろうろするの繰り返しです。</p>
<p>野菜嫌いが心配なので子供がおいしく野菜を食べることができるようレシピ、工夫、ヒント、体験などの情報を提供してほしい。</p>
<p>野菜が苦手なのでハンバーグに入れたりいろいろ工夫しているがなかなか食べてくれない。</p>
<p>炭酸系の飲み物を飲みたがる。</p>
<p>仕事の都合でお父さんと食事をする事が少ないのが心配です。平日はほとんど私と2人だけの食事です。</p>
<p>生野菜をなかなか食べてくれません。例えばサンドイッチにしても野菜だけ取り出してしまいます。</p>
<p>朝があまり食べないし、時間がかかるので、おにぎりだけか、菓子パンだけになってしまいます。野菜を食べさせたいのですが、作るのがめんどくさいし、作っても食べないので、おにぎりの具で何か野菜を使ったものを教えてほしい。</p>
<p>近所などで小学生ぐらいの子どもがファストフード店で、夕食前などの時間帯に子ども達だけで購入し食べているのをよく見かけます。ゴミもそのまま捨てたりとマナーも悪いです。家の事情もそれぞれあるかと思いますが、良くないと思います。</p>
<p>1日3食、食べるようにはしているが、食が細く、1度にたくさん食べれないのです。少し心配なことはありますが、今は元気に成長しています。</p>
<p>野菜が好きでないこと。</p>
<p>好きなものは食べるのが早いですが、そうでないものがあると時間がかかる。甘いものが好きで、食べ過ぎないように注意している。</p>
<p>好き嫌いがコロコロ変わること・野菜が嫌いなことで困ります。小学校に上がり、給食になったらちゃんと食べることができると心配しています。</p>
<p>今、幼稚園ですが、食物アレルギーです。公立なので毎日弁当ですが、これから小学校に上がる時、給食で除去食にできるのかわからない。</p>
<p>好き嫌いはないが、イカなど少し噛みにくいものがあると、いつまでも口の中で噛んでいる。飲むことができない。</p>
<p>果物と野菜の好き嫌いが多い。</p>
<p>最近、家庭内の食事では食べムラ(好き嫌いでなく食べる量)がはげしい。</p>
<p>ダラダラ食べる事。好き嫌いが多いこと。(もう食べるかと怒ると、食べないで平気なので叱りようがない)</p>
<p>アトピーで卵があまり食べれない事。食べるのが遅い。</p>
<p>食事の時間がかかりすぎる事。(初めのうちは自分で食べるが、そのうち「食べさせて」と親に頼るため、なかなか食事が終わらない)</p>

3. 食育アンケート集計（子ども）

アンケート回収率						
	保育所・幼稚園 4歳児	小学校2年生	小学校5年生	中学校2年生	高校生	大学生
配布数	173	690	633	523	320	300
回収数	132	546	473	320	284	248
回収率	76.3%	79.1%	74.7%	60.2%	88.8%	82.7%

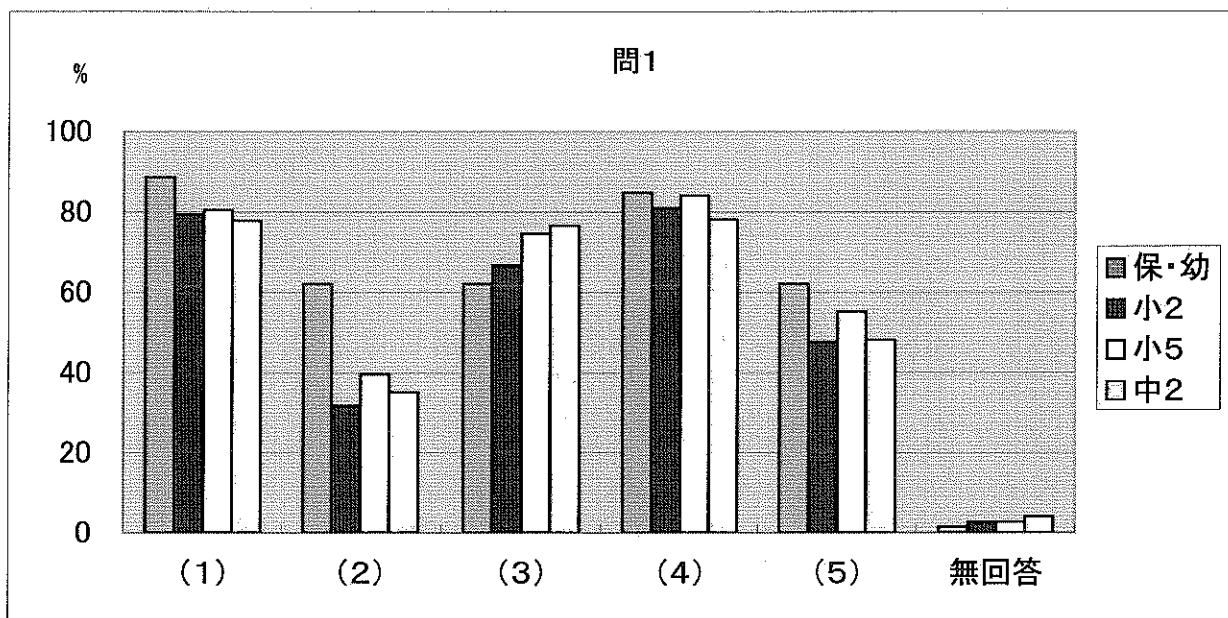
性別回答数						
	保育所・幼稚園 4歳児	小学校2年生	小学校5年生	中学校2年生	高校生	大学生
1. 男性	69 (52.3%)	262 (48.0%)	215 (45.5%)	152 (47.5%)	141 (49.6%)	183 (73.8%)
2. 女性	61 (46.2%)	275 (50.4%)	247 (52.2%)	163 (50.9%)	139 (48.9%)	39 (15.7%)
無回答	2 (1.5%)	9 (1.6%)	11 (2.3%)	5 (1.6%)	4 (1.4%)	26 (10.5%)
計	132	546	473	320	284	248

表・グラフ・用語の説明

1. (重複回答)と書かれているのは、「あてはまる番号すべてを選んで○をつけてください」と書かれている設問の回答です。
2. (単数回答)と書かれているのは、「あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください」と書かれている設問の回答です。
3. グラフは重複回答の時は縦の棒グラフ、単数回答の時は横の棒グラフになっています。
4. 表中では以下のように略されています
 保・幼＝保育所・幼稚園の児童 小2＝小学2年生
 小5＝小学5年生 中2＝中学2年生
 高校＝高校生 大学＝大学生
5. その他の設問がある時は、学年別にまとめて掲載しています。
6. グラフの()の数字は回答番号と一致しています。

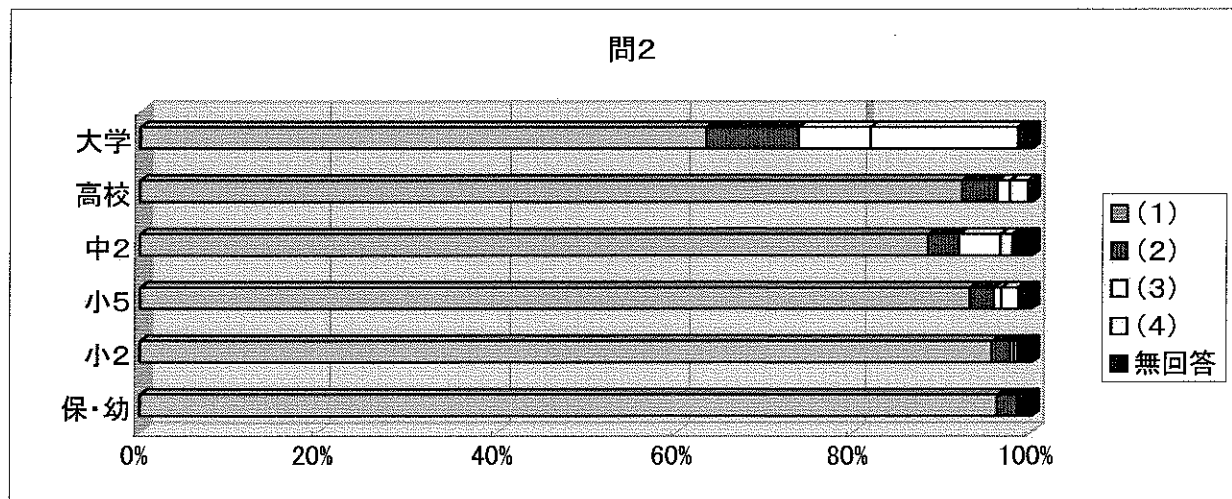
問1 あなたが、食事について行っていることがありますか？(重複回答)

	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
保・幼	117	88.6%	82	62.1%	82	62.1%	112	84.8%	82	62.1%	2	1.5%
小2	433	79.3%	173	31.7%	364	66.7%	442	81.0%	260	47.6%	14	2.6%
小5	381	80.5%	187	39.5%	353	74.6%	398	84.1%	261	55.2%	13	2.7%
中2	249	77.8%	112	35.0%	245	76.6%	250	78.1%	154	48.1%	13	4.1%



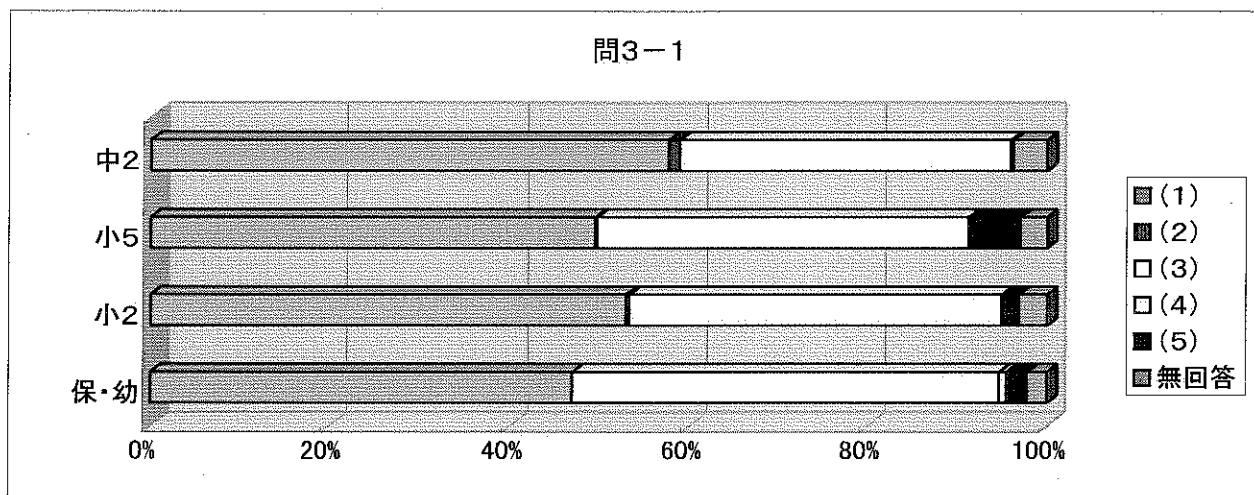
問2 あなたは、朝食を食べていますか？(単数回答)

	(1)		(2)		(3)		(4)		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
保・幼	127	96.2%	3	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.5%
小2	522	95.6%	11	2.0%	2	0.4%	2	0.4%	9	1.6%
小5	440	93.0%	13	2.7%	4	0.8%	9	1.9%	7	1.5%
中2	283	88.4%	11	3.4%	15	4.7%	4	1.3%	7	2.2%
高校	262	92.3%	11	3.9%	4	1.4%	6	2.1%	1	0.4%
大学	157	63.3%	26	10.5%	20	8.1%	41	16.5%	4	1.6%



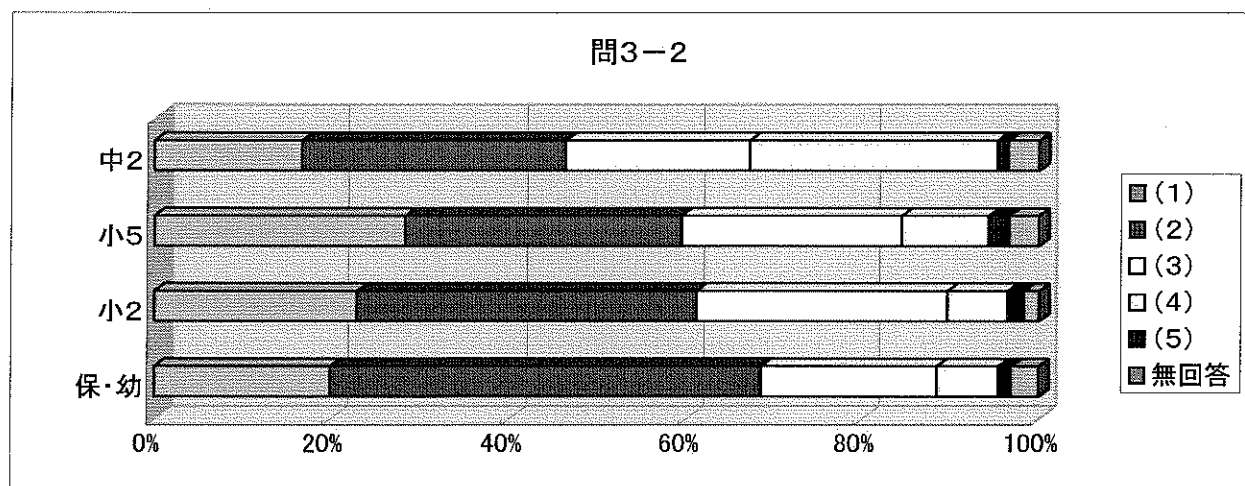
問3-1 問2で、1.2.3と答えた人にお聞きます。あなたは朝食で主に何を食べていますか？
(単数回答)

	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		無回答	
	主食(ご飯・パン・ 麺類)のみ		おかず(肉・魚・ 野菜)のみ		主食+おかず		飲み物(牛乳・野 菜ジュース)のみ		その他			
保・幼	62	47.0%	0	0.0%	63	47.7%	1	0.8%	3	2.3%	3	2.3%
小2	288	52.9%	2	0.4%	227	41.7%	0	0.0%	10	1.8%	17	3.1%
小5	233	49.5%	1	0.2%	196	41.6%	1	0.2%	26	5.5%	14	3.0%
中2	184	57.7%	4	1.3%	118	37.0%	0	0.0%	1	0.3%	12	3.8%



問3-2 問2で、1.2.3と答えた人にお聞きます。あなたは朝食をだれかといっしょに食べていますか？(単数回答)

	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		無回答	
	家族そろって 食べる		おとなの家族の だれかと食べる		子どもだけで 食べる		一人で食べる		その他			
保・幼	26	20.0%	63	48.5%	26	20.0%	9	6.9%	2	1.5%	4	3.1%
小2	125	23.0%	207	38.1%	155	28.5%	37	6.8%	10	1.8%	9	1.7%
小5	134	28.5%	146	31.0%	118	25.1%	46	9.8%	11	2.3%	16	3.4%
中2	53	16.7%	94	29.7%	66	20.8%	89	28.1%	4	1.3%	11	3.5%



(5)その他の内容について

保育所・幼稚園	小学校2年生	小学校5年生	中学校2年生
父親以外の家族 兄弟 子どもどうし	時間が合えばみんなで 父親以外の家族 その日によって違う	その日によって違う 母は横にいるが一人 父親以外の家族	父親以外の家族 起きた人から食べる

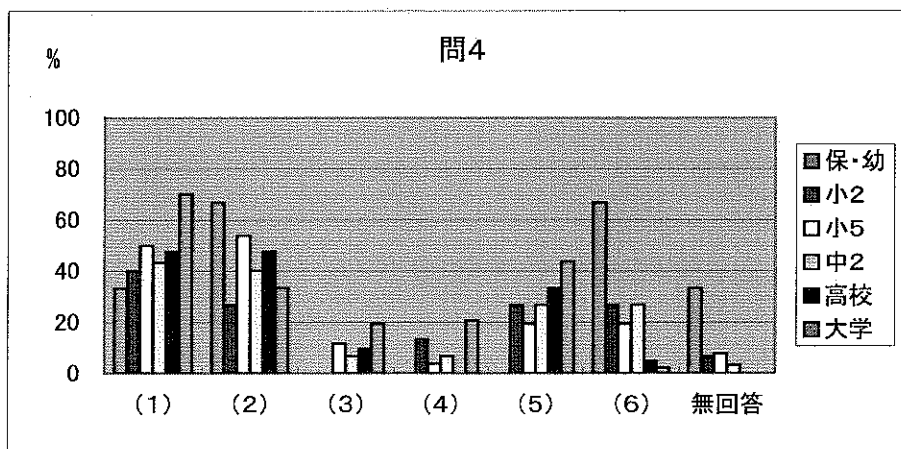
朝食でよく食べるメニュー例(多い順) (人)

保育所・幼稚園	小学校2年生	小学校5年生	中学校2年生
食パン	42	パン 197	ご飯 210
ご飯	39	ご飯 176	パン 155
果物	32	牛乳 147	牛乳 132
ヨーグルト	30	食パン 132	卵料理 102
おにぎり	26	卵料理 116	食パン 94
みそ汁	26	ヨーグルト 94	みそ汁 77
牛乳	23	果物 91	菓子パン 74
卵料理	22	おにぎり 82	ヨーグルト 73
パン	22	みそ汁 82	果物 56
菓子パン	13	野菜ジュース 36	ウインナー 33
納豆	9	納豆 32	野菜 32
野菜ジュース	9	野菜 28	おにぎり 26
ウインナー	8	魚料理 13	納豆 25
チーズ	8	肉料理 7	シリアル 16
高校生	大学生		
パン	103	ご飯	68
ご飯	92	パン	45
牛乳	68	食パン	39
ヨーグルト	54	牛乳	26
菓子パン	40	みそ汁	22
卵料理	36	卵料理	23
食パン	34	コーヒー	20
果物	26	ヨーグルト	17
野菜	17	菓子パン	17
コーヒー	16	野菜	10
紅茶	14	紅茶	9
シリアル	9	シリアル	7
ソーセージ	8	果物	7
納豆	9	おにぎり	6

問4 問2で、2. 3. 4と答えた人におたずねします。朝食を食べない理由は何ですか？(重複回答)

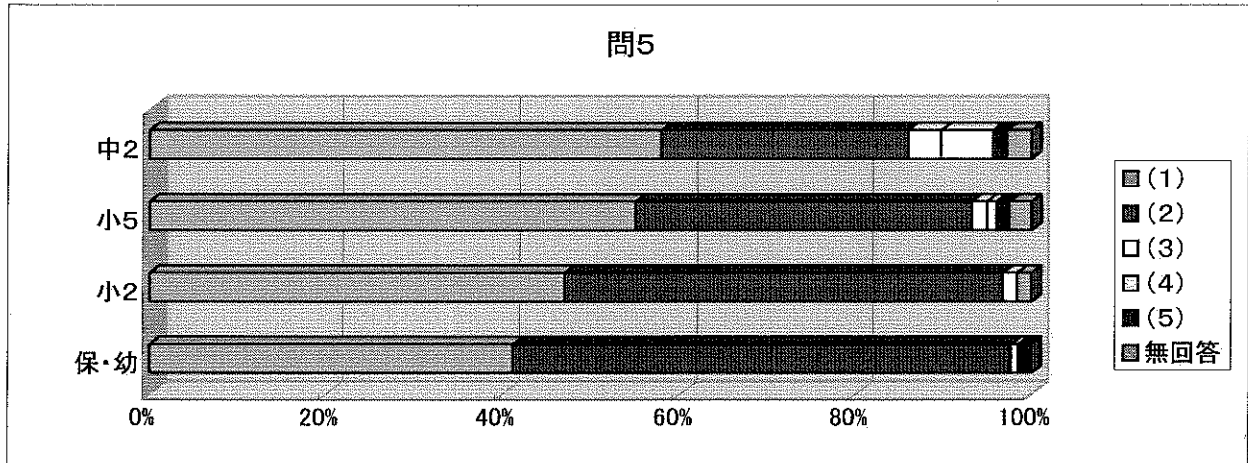
	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		(6)	
	時間がない		食欲がない		食べる習慣がない		朝ごはんができていない		起きない(起きられない)		その他	
保・幼	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%
小2	6	40.0%	4	26.7%	0	0.0%	2	13.3%	4	26.7%	4	26.7%
小5	13	50.0%	14	53.8%	3	11.5%	1	3.8%	5	19.2%	5	19.2%
中2	13	43.3%	12	40.0%	2	6.7%	2	6.7%	8	26.7%	8	26.7%
高校	10	47.6%	10	47.6%	2	9.5%	0	0.0%	7	33.3%	1	4.8%
大学	61	70.1%	29	33.3%	17	19.5%	18	20.7%	38	43.7%	2	2.3%

	無回答	
保・幼	1	33.3%
小2	1	6.7%
小5	2	7.7%
中2	1	3.3%
高校	0	0.0%
大学	0	0.0%



問5 あなたは、夕食をだれかといっしょに食べていますか？(単数回答)

	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		無回答	
	家族そろって食べる	おとなの家族の だれかと食べる	子どもだけで 食べる	一人で食べる	その他							
保・幼	54	40.9%	74	56.1%	1	0.8%	0	0.0%	2	1.5%	0	0.0%
小2	254	46.5%	269	49.3%	9	1.6%	0	0.0%	5	0.9%	9	1.6%
小5	260	55.0%	181	38.3%	8	1.7%	5	1.1%	7	1.5%	12	2.5%
中2	185	57.8%	90	28.1%	12	3.8%	19	5.9%	5	1.6%	9	2.8%

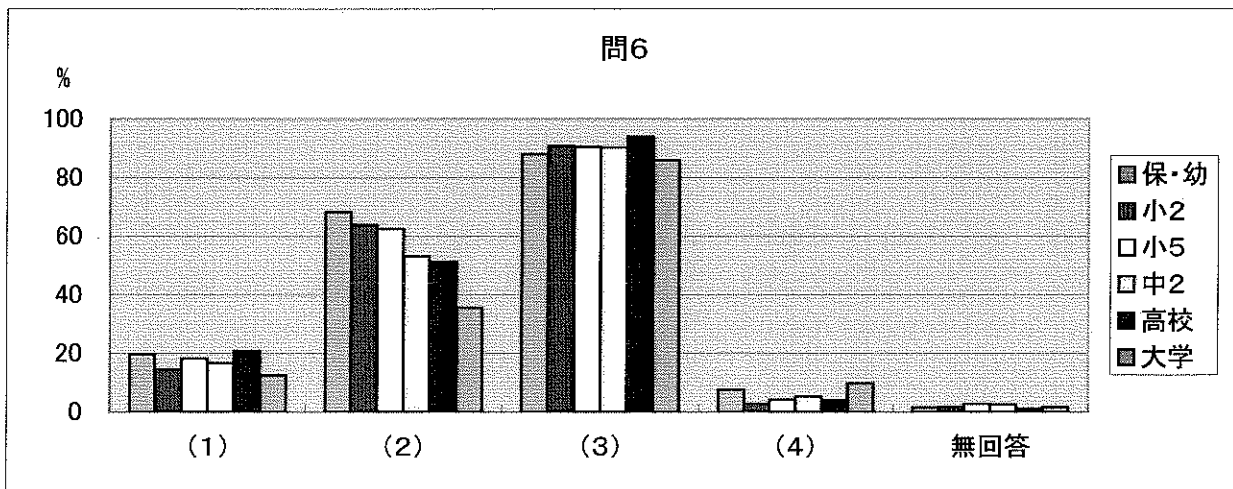


(5)その他の内容について

保育所・幼稚園	小学校2年生	小学校5年生	中学校2年生
父親以外の家族(他7人) 兄弟と母 平日父親の帰りが遅い	父親以外の家族(他4人) 兄弟と母	塾の時は一人 時々父親以外の家族 時々一人で食べる	父親以外の家族 塾の時以外

問6 あなたは、ふだん野菜をいつ食べますか？(重複回答)

	(1)		(2)		(3)		(4)		無回答	
	朝食	昼食	夕食	ほとんど食べない						
保・幼	26	19.7%	90	68.2%	116	87.9%	10	7.6%	2	1.5%
小2	79	14.5%	349	63.9%	496	90.8%	15	2.7%	10	1.8%
小5	86	18.2%	295	62.4%	428	90.5%	20	4.2%	13	2.7%
中2	53	16.6%	170	53.1%	289	90.3%	17	5.3%	8	2.5%
高校	59	20.8%	145	51.1%	267	94.0%	11	3.9%	3	1.1%
大学	31	12.5%	88	35.5%	213	85.9%	24	9.7%	4	1.6%



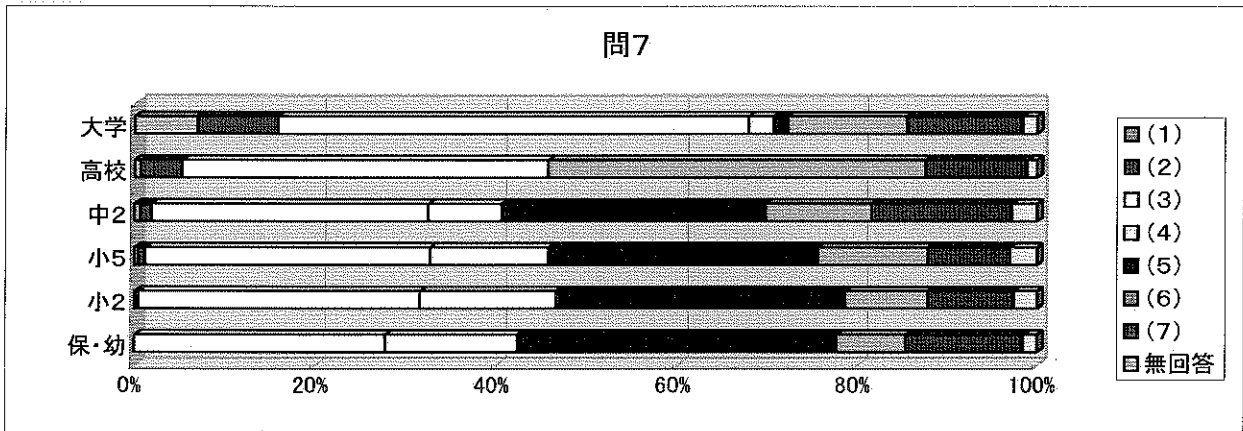
問7 あなたは、どのくらい外食(飲食店で食事)をしますか？(単数回答)

	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		(6)	
	毎日		週に3~4回		週に1~2回		月2回		月1回		その他	
保・幼	0	0.0%	0	0.0%	36	27.3%	19	14.4%	46	34.8%	10	7.6%
小2	0	0.0%	3	0.5%	170	31.1%	82	15.0%	175	32.1%	50	9.2%
小5	2	0.4%	4	0.8%	149	31.5%	62	13.1%	141	29.8%	58	12.3%
中2	2	0.6%	4	1.3%	98	30.6%	26	8.1%	93	29.1%	38	11.9%
高校	2	0.7%	13	4.6%	115	40.5%	0	0.0%	0	0.0%	119	41.9%
大学	17	6.9%	22	8.9%	129	52.0%	7	2.8%	4	1.6%	33	13.3%

	(7)		無回答	
	外食をしない			
保・幼	17	12.9%	4	3.0%
小2	52	9.5%	14	2.6%
小5	43	9.1%	14	3.0%
中2	50	15.6%	9	2.8%
高校	32	11.3%	3	1.1%
大学	32	12.9%	4	1.6%

(6)その他の内容について

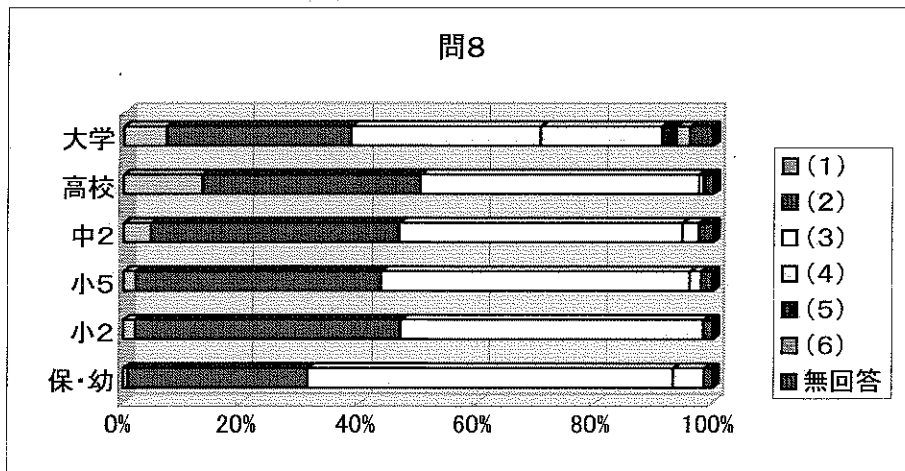
年数回・たまに・誕生日・記念日・イベントのある日



問8 平日の朝、起きる時刻は何時ごろですか？(単数回答)

	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		(6)	
	午前6時以前		午前6時台		午前7時台		午前8時台		午前9時台		午前10時台	
保・幼	1	0.8%	40	30.3%	82	62.1%	7	5.3%				
小2	11	2.0%	244	44.7%	281	51.5%	1	0.2%				
小5	10	2.1%	195	41.2%	249	52.6%	9	1.9%				
中2	15	4.7%	133	41.6%	154	48.1%	9	2.8%				
高校	38	13.4%	104	36.6%	135	47.5%	2	0.7%	0	0.0%	1	0.4%
大学	18	7.3%	77	31.0%	80	32.3%	51	20.6%	6	2.4%	6	2.4%

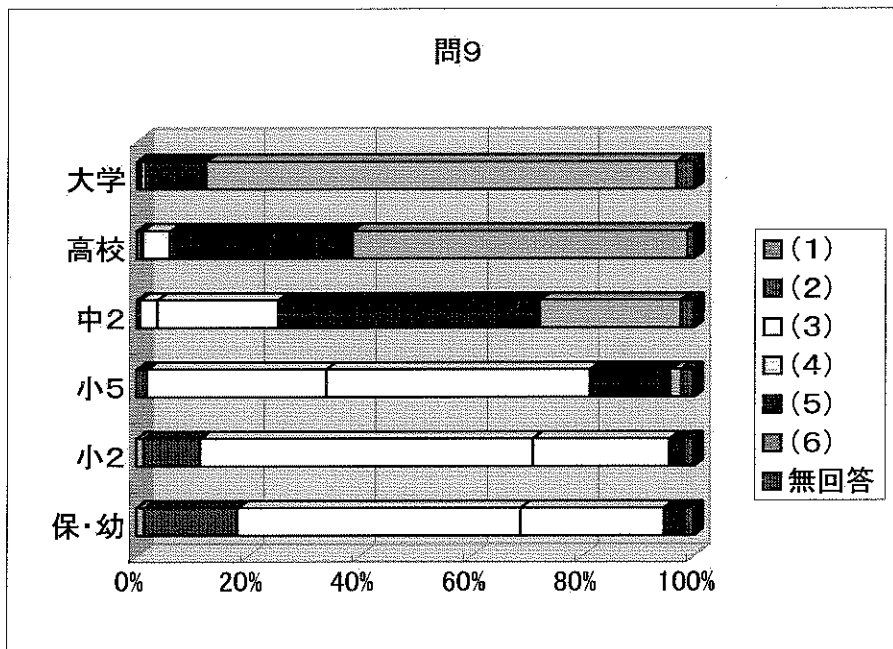
無回答	
保・幼	2 1.5%
小2	8 1.5%
小5	10 2.1%
中2	8 2.5%
高校	4 1.4%
大学	10 4.0%



問9 平日の夜、寝る時刻は何時ごろですか？(単数回答)

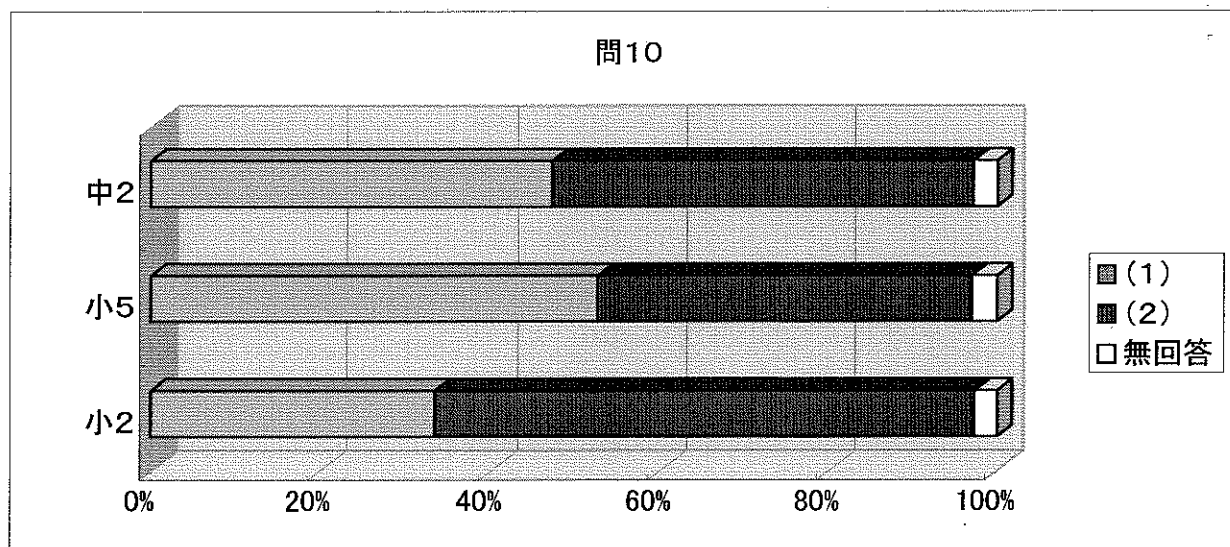
	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		(6)	
	午後8時以前		午後8時台		午後9時台		午後10時台		午後11時台		深夜12時以降	
保・幼	2	1.5%	22	16.7%	67	50.8%	34	25.8%	5	3.8%	0	0.0%
小2	7	1.3%	55	10.1%	325	59.5%	134	24.5%	15	2.7%	0	0.0%
小5	0	0.0%	9	1.9%	152	32.1%	224	47.4%	68	14.4%	9	1.9%
中2	0	0.0%	2	0.6%	10	3.1%	69	21.6%	150	46.9%	80	25.0%
高校	2	0.7%	0	0.0%	1	0.4%	14	4.9%	93	32.7%	171	60.2%
大学	1	0.4%	0	0.0%	1	0.4%	2	0.8%	27	10.9%	209	84.3%

	無回答	
保・幼	2	1.5%
小2	9	1.6%
小5	11	2.3%
中2	8	2.5%
高校	3	1.1%
大学	8	3.2%



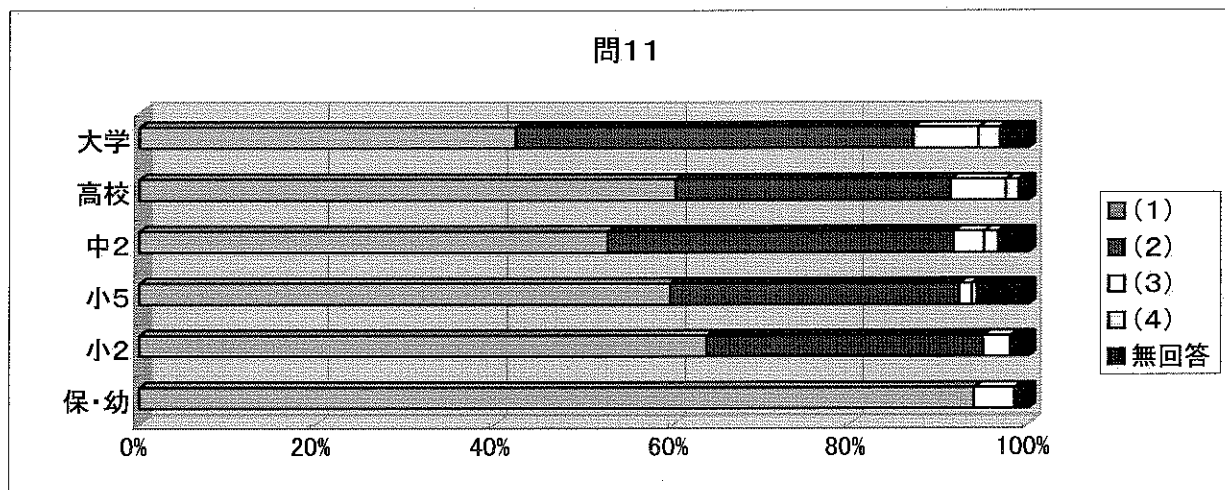
問10 あなたは、学校給食に四條畷市で作られた農産物を使っているのを知っていますか？(単数回答)

	(1)		(2)		無回答	
	はい	33.5%	いいえ	63.9%		
小2	183	33.5%	349	63.9%	14	2.6%
小5	249	52.6%	210	44.4%	14	3.0%
中2	151	47.2%	160	50.0%	9	2.8%



問 11 あなたは、楽しく食事をしていますか？(単数回答)

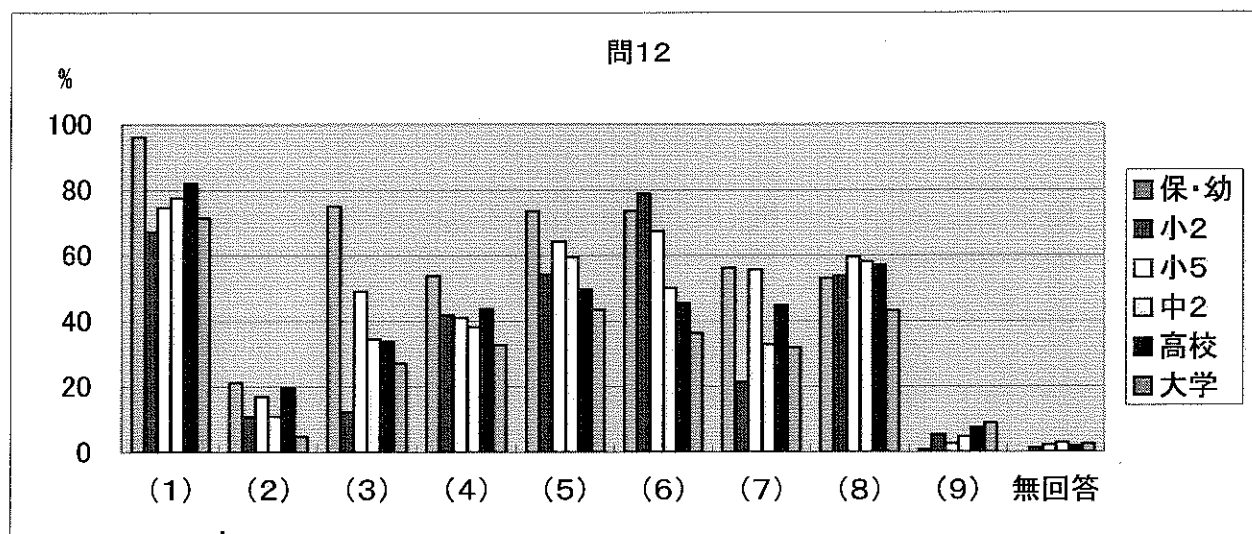
	(1)		(2)		(3)		(4)		無回答	
	いつも楽しい		時々楽しい		あまり楽しくない		楽しくない			
保・幼	123	93.2%			6	4.5%			3	2.3%
小2	348	63.7%	170	31.1%	17	3.1%	0	0.0%	11	2.0%
小5	289	59.5%	158	32.7%	7	1.4%	3	0.6%	28	5.8%
中2	168	52.7%	124	38.9%	11	3.4%	5	1.6%	11	3.4%
高校	171	60.2%	88	31.0%	18	6.3%	4	1.4%	3	1.1%
大学	105	42.3%	111	44.8%	18	7.3%	6	2.4%	8	3.2%



問 12 あなたが楽しく食事をしているのは、どんな時ですか？(重複回答)

	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		(6)	
	好きなものを食べる時		朝食の時		昼食の時		夕食の時		外出する時		家族そろって食べる時	
保・幼	127	96.2%	28	21.2%	99	75.0%	71	53.8%	97	73.5%	97	73.5%
小2	367	67.2%	59	10.8%	67	12.3%	228	41.8%	296	54.2%	430	78.8%
小5	353	74.6%	80	16.9%	232	49.0%	194	41.0%	304	64.3%	319	67.4%
中2	248	77.5%	35	10.9%	110	34.4%	122	38.1%	190	59.4%	160	50.0%
高校	10	47.6%	10	47.6%	2	9.5%	0	0.0%	7	33.3%	1	4.8%
大学	61	70.1%	29	33.3%	17	19.5%	18	20.7%	38	43.7%	2	2.3%

	(7)		(8)		(9)		無回答	
	自分が作ったり手伝ったりしたものを食べる時		バーベキューのように屋外で食べる時		その他			
保・幼	74	56.1%	70	53.0%	1	0.8%	0	0.0%
小2	117	21.4%	293	53.7%	29	5.3%	7	1.3%
小5	263	55.6%	281	59.4%	12	2.5%	10	2.1%
中2	105	32.8%	186	58.1%	2	6.7%	2	6.7%
高校	10	47.6%	10	47.6%	2	9.5%	0	0.0%
大学	61	70.1%	29	33.3%	17	19.5%	18	20.7%



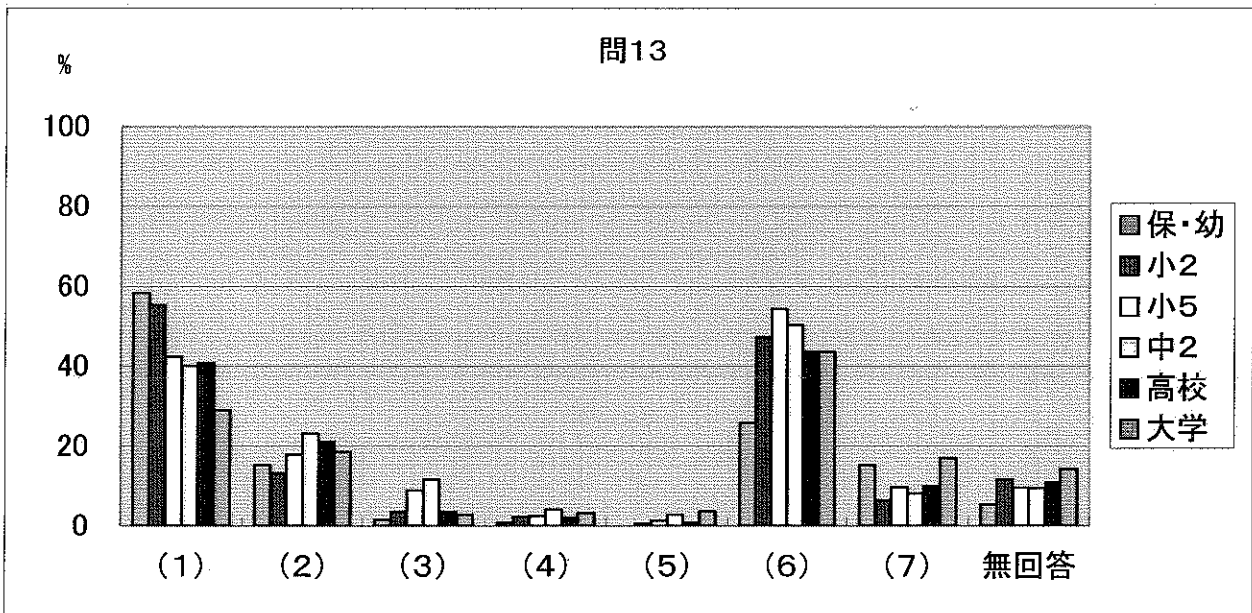
(9)その他の内容について

保育所・幼稚園	小学校2年生
実家に遊びに行き、大勢の人と一緒に食事をする時 好きな人と食べる時	友達と食べる時 (他6人) おしゃべりしている時 おばあちゃん家で、みんなで食べる時 祖父母・親戚と食べる時 寿司を食べに行く時
小学校5年生	中学校2年生
友達と食べる時 (他4人) 祖母と食べる時 みんなで食べる時 学校で面白い事があった時 遠足の時	友達と食べる時 (他6人) 好きなテレビを見ながら食べる時 (他2人) 気分がいい時 お弁当を食べる時
高校生	大学生
友達と食べる時 (他6人) お腹がすいている時	友達と食べる時 (他8人) みんなで食べる時 (他3人) 彼女の手料理 テレビを見ながら食べる時

問 13 あなたが楽しく食事をしていないのは、どんな時ですか？(重複回答)

	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		(6)	
	好きなものがない時		朝食の時		昼食の時		夕食の時		外出する時		一人で食べる時	
保・幼	77	58.3%	20	15.2%	2	1.5%	1	0.8%	0	0.0%	34	25.8%
小2	302	55.3%	72	13.2%	19	3.5%	12	2.2%	3	0.5%	258	47.3%
小5	200	42.3%	84	17.8%	42	8.9%	12	2.5%	6	1.3%	257	54.3%
中2	128	40.0%	74	23.1%	37	11.6%	13	4.1%	9	2.8%	161	50.3%
高校	116	40.8%	60	21.1%	10	3.5%	6	2.1%	2	0.7%	124	43.7%
大学	72	29.0%	46	18.5%	7	2.8%	8	3.2%	9	3.6%	108	43.5%

	(7)		無回答	
	その他			
保・幼	20	15.2%	7	5.3%
小2	35	6.4%	64	11.7%
小5	46	9.7%	45	9.5%
中2	26	8.1%	30	9.4%
高校	28	9.9%	31	10.9%
大学	42	16.9%	35	14.1%



(7)その他の内容について

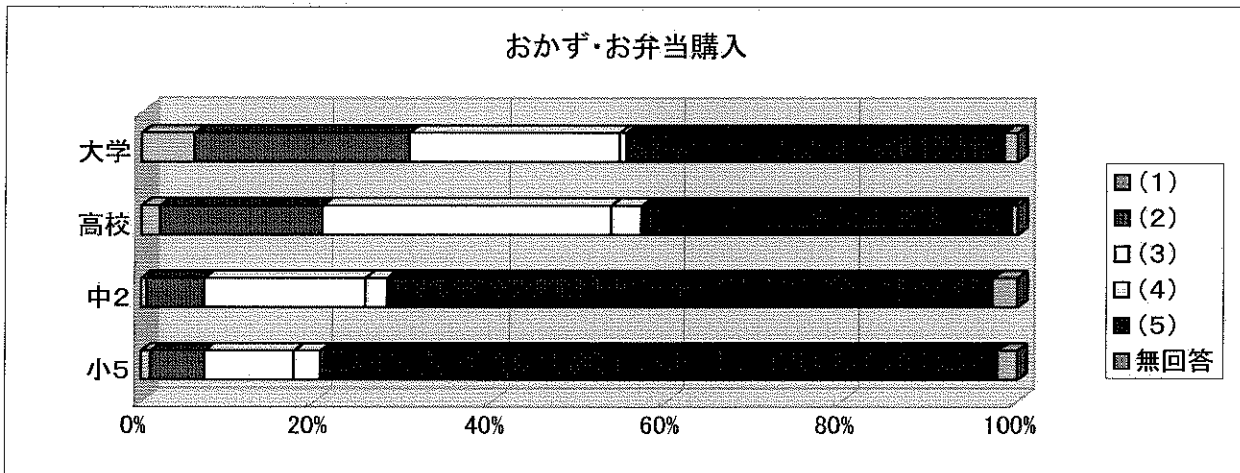
保育所・幼稚園
友達と一緒に食事をする時、遊びに夢中になり食べない
特になし、いつも楽しそうに食事をしている
嫌いなものをのける時 (他2人)
苦手なものが出た時
食物アレルギーなので、栄養面が大丈夫かと心配になります
怒られている時 (他2人)
好き嫌いが多く、野菜は苦手
食べるのに集中できなくて、遅くなることある。
野菜が嫌いなのでどのようにして取り入れたらいいの？
姉妹喧嘩の後、眠たい時
頭がスッキリ起きていない時
その時の機嫌による、寝起きなど眠たい時
機嫌の悪い時、怒られる時
お菓子を食べ過ぎた時
お腹がいっぱいの時

小学校2年生		
怒られた時	(他6人)	食べる速度が非常に遅いのでみんなのペースについて
嫌いなメニューの時	(他3人)	いけない時
具合が悪い時	(他2人)	機嫌が悪い時
いじめられた時		食べ終わるのが最後になった時
ご飯が変なおいがする時		好きなTV番組がある時
小学校5年生		
怒られた時	(他6人)	家族が揃っていない時
嫌いなメニューの時	(他4人)	親とケンカした時
ケンカした後	(他2人)	習い事の時の食事
静かな時	(他2人)	怒っている時
体調不良の時	(他2人)	知らない人と食べる時
中学校2年生		
怒られた時	(他4人)	テンションが低い時
嫌なことがあった時	(他2人)	急いで食べて、時間がない時
気分がのらない時		キレてる時
面白くない時		家族とケンカした時
嫌なことをする前		嫌いなメニューの時
しんどい時		みんなが暗い時
高校生		
気分がのらない時	(他4人)	
しんどい時	(他3人)	
機嫌が悪い時		
疲れた時		
大学生		
悲しい時・落ち込んでいる時		味がひどい時
嫌いな人と食べる時		眠い時
家族がケンカしている時		体調が悪い時
時間がない時		嫌いなメニューの時
タバコを吸う人がいたりする時		食欲がない時

● 小学校5年生以上への質問

あなたは、1週間のうち、どのくらいスーパーやコンビニエンスストアなどで、おかずや弁当を買いますか？（単数回答）

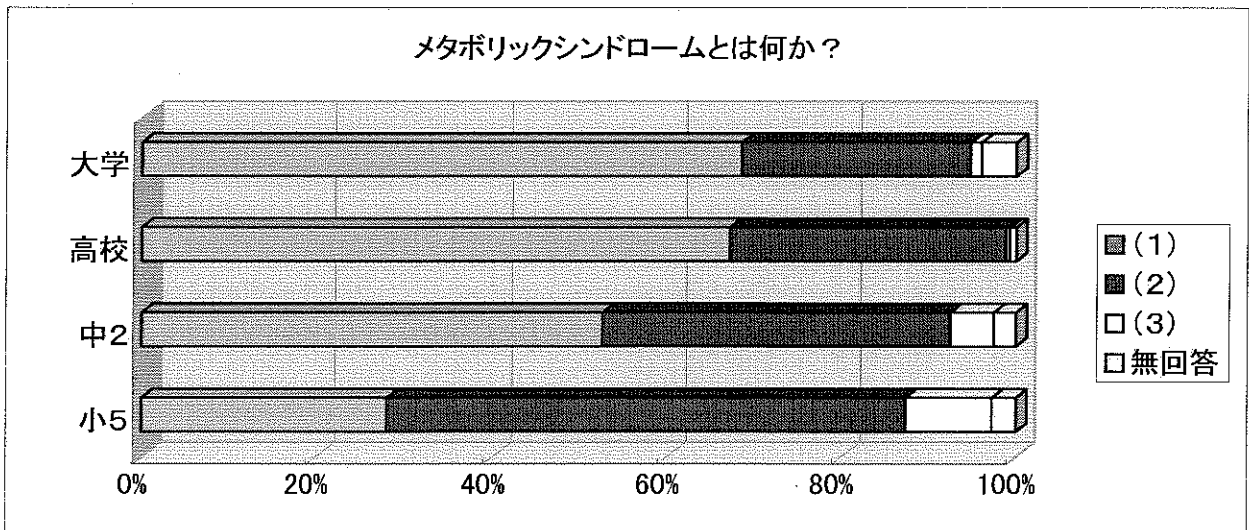
	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		無回答	
	5食分以上買う		2~4食分買う		1食分くらい買う		その他		外食をしない			
小5	5	1.1%	29	6.1%	49	10.4%	14	3.0%	364	77.0%	11	2.3%
中2	2	0.6%	21	6.6%	59	18.4%	8	2.5%	220	68.8%	9	2.8%
高校	6	2.1%	53	18.7%	93	32.7%	10	3.5%	120	42.3%	2	0.7%
大学	15	6.0%	61	24.6%	59	23.8%	2	0.8%	107	43.1%	4	1.6%



● 小学校5年生以上への質問

あなたは、「メタボリック・シンドローム＝内臓脂肪症候群」とは何か知っていますか？（単数回答）

	(1)		(2)		(3)		(4)	
	内容を知っている		聞いたことがあるが知らない		知らない		無回答	
小5	133	28.1%	279	59.0%	47	9.9%	13	2.7%
中2	168	52.5%	127	39.7%	16	5.0%	8	2.5%
高校	191	67.3%	90	31.7%	1	0.4%	2	0.7%
大学	170	68.5%	65	26.2%	3	1.2%	10	4.0%



4. 食育アンケート自由記載項目(子ども)

【小学校5年生と中学校2年生用のアンケート】問16の自由記載のまとめ

食品を選ぶ時に気をつけていること(小5:473人中)

・賞味期限・消費期限に気をつける。	75人
・新鮮なものを選ぶ。	20人
・食品添加物	6人
・原産国を確認する。	14人
・中国産のものは買わない。	23人
・国産品を選ぶ。	29人
・価格・値段について安いものを選ぶ。	19人
・栄養価の高いものを選ぶ。	8人
・栄養バランスに気をつける。	11人
・冷凍食品の毒入り事件があったので気をつけたい。	
・ほしい食品ばかり買わないこと	
・おいしそうなもの	
・おいしいものを選んでいく。	
・バラ売りのエビ、イカ、ミニトマトなどは大きいものを選ぶ。	
・かたちがきれいな物	
・野菜なら腐っていないくて大きなものを選ぶ。	

食品を選ぶ時に気をつけていること(中2:320人中)

・賞味期限・消費期限に気をつける。	47人
・新鮮なものを選ぶ。	14人
・食品添加物	2人
・原産国を確認する。	5人
・中国産のものは買わない。	19人
・国産品を選ぶ。	10人
・価格・値段について安いものを選ぶ。	12人
・栄養価の高いものを選ぶ。	4人
・カロリーを気にしている。	8人
・栄養バランスに気をつける。	10人
・塩分に気をつけている。	
・きれいな野菜	
・野菜の中でもゴーヤなど色々な体に良いものを考えて料理しています。賞味期限や新鮮なもの、旬のものなど。おいしい料理を作るのが生きがいです。	
・無農薬・虫に食べられていないものを選ぶ。	
・肉が好きでよく食べるのですが、友達がBSEを心配して牛肉を一切食べないのを見習い、最近豚肉のしょうが焼きをよく食べる。体が温かくなる。肉ばかりではダメなので、魚を食べるようになったら好きな魚が増えた。海藻も食べられるようになった。	
・赤・黄・緑の食品群の量を等しくする。	
・アメリカ牛は避けている。	
・カロリーが低いもので、塩分控えめのもの。肉なら鶏のささ身か胸肉(皮なし)とかヘルシーなものを選ぶ。	
・遺伝子組み換えでないか。	
・国産を食べている。	
・栄養バランスのよくなるようにする。	
・少なくとも野菜の使ったおかずを1品は食べる。	
・ほとんど家で作っている野菜で食べている。	
・タンパク質をあまりとらないようにする。	

【小学5年生と中学2年生用のアンケート】問17の自由記載のまとめ

食に対して思っていること(小5:473人中)

●自分で育てた野菜を食べたい(37人)

- ・自分で育てて作った野菜を食べてみたい。(他28人)
- ・自分で食事を作りたい。育てた野菜を食べたい。健康によいものを使いたい。
- ・ネギやきゅうりなどを家族で育てています。もちろん無農薬で安心しておいしく食べています。
- ・自分で作ったり手伝ったりして頑張った作った食物をできるだけ食べています。
- ・有機栽培で野菜を作って食べてみたい。
- ・育てているプチトマトの収穫
- ・自分たちで育てている米を早く食べてみたい。
- ・親が野菜を作っているのが新鮮なものを食べれる。子どもは味に敏感で野菜嫌いがましになった。
- ・自分で育てた野菜で自分で食事を作ってみよう。
- ・自分で育てたオクラを食べたらおいしかった。

●自分で料理を作ってみよう(86人)

- ・自分で料理を作ってみよう。(他53人)
- ・自分が作ったものを家族に食べてもらいたい。(他7人)
- ・みんなで手作り料理をして楽しくおいしく食べたい。
- ・卵とかを作れるようになったから、サラダを作ってみよう。
- ・クッキー、ホットケーキを作るが他のおやつも作ってみよう。
- ・一人で色々な料理を作れるようになりたい。
- ・お母さんの手伝いでいいから、自分で食事を作ってみよう。
- ・母親のように一人で料理を作りたい。
- ・もっと野菜を食べて元気になりたい。
- ・自分で作ってクラスで食べたい。
- ・いろいろなご飯を作れるようになりたい。
- ・家族と一緒に食事を作ってみよう。
- ・自分で食事を作ったりお手伝いした時はすごくおいしいです。
- ・自分で最初から全部作ってみよう。
- ・自分ですごくおいしい食事を作りたい。
- ・自分がお手伝いしたりした食事を家族に食べてもらったり「おいしい」と言ってもらえるとうれしい。
- ・自分で食事を作ってみよう。(卵を割ってみよう)
- ・自分で作ってみよう。食べたことのない物を食べてみたい。
- ・自分で夕食を作ってみよう。
- ・自分で火を使ってみよう。
- ・お手伝いをして食べてみたい。
- ・自分でご飯や簡単なおかずを作りたい。
- ・自分で買い物に行き自分で食事を作りたい。自分で野菜を作ってみよう。
- ・いろいろな料理を作ってみよう。
- ・自分で新しいものを作りたい。
- ・自分で作ったお菓子やクッキーを友達に食べてもらいたい。
- ・食事を自分で作ってみよう。(カレー、ビーフシチュー、焼きめし)
- ・安くておいしそうな料理を作りたい。

●その他(40人)

- ・出来立てのお米や新鮮なやさいを食べてみたい。
- ・今作れるもの以外の食事を作ってみよう。
- ・もう少し食べる量を減らしたい。
- ・ありがたいと思ってる。
- ・おいしいものを食べたい。
- ・栄養を考えただけで変わると思う。楽しい食事が出来たらいい。
- ・どんなものにタンパク質が含まれているか調べてみたい。
- ・おいしいものを食べたい。
- ・自分の釣った魚を食べてみたい。
- ・学校給食を作ってみよう。
- ・作った人に感謝したい。
- ・食べ物を作っている工場を見学に行きたい。

- ・捕りたての食材を食べたい。
- ・バランスよく摂れないとダメだと思う。
- ・ちゃんと夕食を食べたい。
- ・新鮮な野菜や果物を食べる。
- ・あまりありません。だけど給食センターでいろいろなものを作ったりしてみたい。
- ・土や自然にできたものを食べてみたい。
- ・無駄にしない。
- ・バランスを考えて買い物してみたい。
- ・おいしいものが食べたい。
- ・食事中、兄の話が多いので、自分の話が聞いてもらえず悲しい。
- ・いつもお母さんがおいしい食事を作ってくれてうれしいです。できるだけお手伝いをしたいです。
- ・もぎたてのものをガブッと食べてみたい。
- ・コンビニやスーパーのお弁当などで育っている子を少なくしたい。
- ・賞味期限に左右されるのはエコに反する。
- ・嫌いな野菜を入れなくて欲しい。
- ・いろいろな食べ物を食べたい。
- ・今怖いものがいっぱいあるから、怖い。
- ・もっといろいろ野菜、肉などを使ってレパートリーを増やしたい。
- ・嫌いなものは出さないで。
- ・食事はおいしいし楽しい。
- ・ご飯はおいしいと思っている。
- ・残さず食べたい。嫌いな食べ物を減らしたい。
- ・バランス良く食べる。
- ・なるべく野菜を食べる。
- ・好きなものだけ食べてみたい。
- ・バランスが良くて栄養があって少し豪華な料理を作って食べてみたい。
- ・嫌いなものでもとても楽しく食べればおいしくなる。
- ・いつも家族そろって楽しく食べたい。
- ・野菜はいらない。

食に対して思っていること(中2:320人中)

●自分で育てた野菜を食べたい(7人)

- ・パンを小麦から自分で作ってみたい。
- ・スイカを作ってみたい。(家庭菜園)
- ・自分で育てた野菜など、食べたいと思うことはあります。
- ・育てた野菜を食べたり、とれたてで新鮮な野菜を自分で料理する。
- ・とうもろこしとトマトを育ててみたい。
- ・家庭でできた野菜を食べてみたい。
- ・自分ひとりで野菜や果物を作ってみたい。

●自分で料理を作りたい(38人)

- ・自分で食事を作りたい。(他11人)
- ・自分で料理をもっと作れるようになりたい。(他4人)
- ・自分でメニューを考えて色々なパターンを作って試食したい。
- ・最初から最後まで食事を作りたい。
- ・お菓子を作りたい。
- ・何でも作れるようになりたい。
- ・自分で弁当を作りたい。
- ・いろいろな料理を作りたい。家族みんなでいっぱいの料理を作りたい。友達と料理を作りたい。1人で家族みんなに料理を作ってあげたい。
- ・自分で作って食べたい。
- ・授業とかで色々な人に料理を教わってみたい。自分で作ってみたい。
- ・自分で食事を作りたい。給食をバイキングに！給食のメニューが選べるほうがいい。
- ・自分で食事を作って家族揃って食べたい。
- ・もっと料理を作りたい。
- ・自分で作れる食事を増やしたい。
- ・自分で作ったことのない食事を作りたい。

- ・新しいメニューを開発したい。
- ・自分でショートケーキを作りたい。
- ・自分でプリンを作ってみたい。
- ・自分で何でも作れるようにこれから頑張っていきたい。
- ・自分で食事を作ったりしている。
- ・一人で夕食を作ってみたい。
- ・自分で食事を考えてみたい。
- ・もっと色々な料理を作ってみたい。
- ・自分で食材を選んで食事を作りたい。

●その他(27人)

- ・お母さんが作ったごはんが食べたい。
- ・食材の値段が高くなっている。
- ・給食の残飯をどうにかして減らしたい。
- ・自分で釣った魚を食べてみたい。実際に色々な体験を理由に食をとっていききたい。
- ・いっぱい、楽しくおいしく、家族と食べられたらそれでいい。
- ・バランスのよい食事を摂らないといけないと思う。
- ・何か発明したいな。
- ・安全第一
- ・脂っこいものをあまり食べず、野菜を食べるようにしている。
- ・もっと野菜を食べたほうがいいと思う。
- ・給食に関して思っていることは、生徒たちが食べないとわかっていて出すもの。納豆などは、ムダではないのですか？もちろん好きな人もいますが、残す人のほうが多いと思います。それなら出さない方がお金のムダもないし、残った物は捨てるのかは知りませんが。と思うので、食べ物にも申し訳ないと思っています。子ども子どもといいますが、まずは大人からじゃないでしょうか？
- ・栄養のバランスとか考えるの難しそう。関係ないかもしれないけど、給食の時間が短いし、量が少ないから、体に悪いと思う。
- ・おいしく食べる。
- ・鶏を飼って卵を食べたい。自分で海の幸をとりたい。
- ・食べ物で遊ばない。
- ・好き嫌いをしないでいっぱい食べる。
- ・栄養がたくさん摂れる食事にしたい。
- ・食べられる時に、たくさん食べておきたい。
- ・赤・黄・緑の食品群を等しく食べたい。
- ・給食がまずい。
- ・部活が終わったら、すぐにご飯が食べたい。
- ・騒がれているので、中国産のものは買わない。
- ・栄養がたくさん含まれているものを食べると満足。
- ・デザートをお腹いっぱい食べたい。
- ・タンパク質を多く摂るように心がけている。
- ・給食にラーメンを出さないほうがいいと思う。食べる時にはのびてておいしくないから。
- ・安全でおいしいものを食べたいです。
- ・給食を弁当にしてほしい。
- ・自分で育てた牛を食べてみたい。
- ・いつもうまいものが食べたい。
- ・いつもおいしく食べたい。
- ・とにかく丼系をずっと食べたい。
- ・変わったものを食べたい。
- ・食事は生活に欠かせないものだと考えます。そもそも食事は動物や植物の命をもらっているということで感謝の気持ちをこめて、「いただきます」と言わないといけないと思います。日本はとても恵まれています。この時に生まれたことを感謝します。
- ・お母さんと一緒にご飯やお菓子を作りたい。用事のない日はできるだけ家族と食べたい。
- ・どこで作られたか。
- ・見直すべきところがまだまだあるだろうから直していきたい。
- ・気にしていない。

食育に対する意見(高校生:284人中)

- ・調理実習
- ・フード・マイレージの調査結果を知りたい。
- ・名産品がない。市のキャラクターを作っては？
- ・食品の値上げにショック
- ・食育がわからない。
- ・安全な食品を。
- ・食育が何かを伝える。
- ・食品添加物を減らす。
- ・いろいろ教えて欲しい。知識が欲しい。
- ・情報提供
- ・学食のメニューが冷たい。
- ・市民の食生活の調査をして計画作成し、実行して欲しい。
- ・反対意見にも反論できるようにして欲しい。
- ・学ぶ機会を増やす。
- ・形式的に実施して、市民が悪いという事にしないで欲しい。
- ・食育は、小学校・中学校までで良い。
- ・肥満ややせすぎの解消方法を示して欲しい。
- ・健康で安全な食べ物が必要
- ・学校での調理実習を増やし、知識を与える。簡単料理の普及
- ・幼稚園の子のお弁当の見直し推進
- ・子ども以外に大人にも必要

食育に対する意見(大学生:248人中)

- ・色々な人と食べると楽しく食べられる。
- ・食堂のメニューの偏りを何とかして欲しい。
- ・食育は、若いうちにすべき。
- ・中学校区で講演会などで子どもに教える。
- ・食について考慮したいが、価格のことで食材が購入しにくい現状あり。
- ・バランスよく食べることを教える。
- ・バランスのよいメニューを掲示する。
- ・栄養も大事だが食べやすいものを作ることのほうが良い。弁当メニュー集等の配布。アニメなどの活用
- ・おいしくてバランスの取れた食事
- ・皆で食事すると楽しい。
- ・「食育+ECO=新しい食育」のカタチを考えて欲しい。
- ・食べ物の重要性を教える。
- ・3歳までの時期を重視すべき。
- ・学校で他の授業より重視する。
- ・市の食育週間を作る。
- ・知識だけでなく、実行への支援が必要
- ・飲食店に必ず食育メニューを作らせてはどうか？
- ・中国製の食品の安全性は？
- ・市としての方向を公開すべき。
- ・中国産を輸入しない。
- ・食育より道路整備
- ・朝食を食べないと体がしんどい。
- ・偏った食事はダメ。家族で食事を大切にすることが重要
- ・テレビでのCM
- ・大人が手本を！
- ・昼食時間に情報提供し、学習させることが重要
- ・食品が高い。
- ・自分の摂取量が解らない。
- ・食に関する情報提供を増やし、お得なイベント等もする。
- ・食育を進めることで、市民の食生活を改善して欲しい。
- ・大学生協に協力依頼
- ・学校だけでなく家庭でも教える必要あり。

資料6 食育基本法（平成17年7月15日施行）

食育基本法（平成十七年法律第六十三号）

目次

前文

第一章 総則（第一条～第十五条）

第二章 食育推進基本計画等（第十六条～第十八条）

第三章 基本的施策（第十九条～第二十五条）

第四章 食育推進会議等

附則

二十一世紀における我が国の発展のためには、子どもたちが健全な心と身体を培い、未来や国際社会に向かって羽ばたくことができるようにするとともに、すべての国民が心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと暮らすことができるようにすることが大切である。

子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要である。今、改めて、食育を、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められている。もとより、食育はあらゆる世代の国民に必要なものであるが、子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものである。

一方、社会経済情勢がめまぐるしく変化し、日々忙しい生活を送る中で、人々は、毎日の「食」の大切さを忘れがちである。国民の食生活においては、栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向などの問題に加え、新たな「食」の安全上の問題や、「食」の海外への依存の問題が生じており、「食」に関する情報が社会に氾濫する中で、人々は、食生活の改善の面からも、「食」の安全の確保の面からも、自ら「食」のあり方を学ぶことが求められている。また、豊かな緑と水に恵まれた自然の下で先人からはぐくまれてきた、地域の多様性と豊かな味覚や文化の香りあふれる日本の「食」が失われる危機にある。

こうした「食」をめぐる環境の変化の中で、国民の「食」に関する考え方を育て、健全な食生活を実現することが求められるとともに、都市と農山漁村の共生・対流を進め、

文化の継承及び発展、環境と調和のとれた食料の生産及び消費の推進並びに食料自給率の向上に寄与することが期待されている。

国民一人一人が「食」について改めて意識を高め、自然の恩恵や「食」に関わる人々の様々な活動への感謝の念や理解を深めつつ、「食」に関して信頼できる情報に基づく適切な判断を行う能力を身に付けることによって、心身の健康を増進する健全な食生活を実践するために、今こそ、家庭、学校、保育所、地域等を中心に、国民運動として、食育の推進に取り組んでいくことが、我々に課せられている課題である。さらに、食育の推進に関する我が国の取り組みが、海外との交流等を通じて食育に関して国際的に貢献することにつながることも期待される。

ここに、食育について、基本理念を明らかにしてその方向性を示し、国、地方公共団体及び国民の食育の推進に関する取組を総合的かつ計画的に推進するため、この法律を制定する。

第一章 総則

(目的)

第一条 この法律は近年における国民の食生活をめぐる環境の変化に伴い、国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむための食育を推進することが緊要な課題となっていることにかんがみ、食育に関し、基本理念を定め、及び国、地方公共団体等の責務を明らかにするとともに、食育に関する施策の基本となる事項を定めることにより、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来にわたる健康で文化的な国民の生活と豊かで活力ある社会の実現に寄与することを目的とする。

(国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成)

第二条 食育は、食に関する適切な判断力を養い、生涯にわたって健全な食生活を実現することにより、国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成に資することを旨として、行わなければならない。

(食に関する感謝の念と理解)

第三条 食育の推進に当たっては、国民の食生活が、自然の恩恵の上に成り立っており、また、食に関わる人々の様々な活動に支えられていることについて、感謝の念や理解が深まるよう配慮されなければならない。

(食育推進運動の展開)

第四条 食育を推進するための活動は、国民、民間団体等の自発的意思を尊重し、地域の特性に配慮し、地域住民その他の社会を構成する多様な主体の参加と

協力を得るものとするとともに、その連携を図りつつ、あまねく全国において展開されなければならない。

(子どもの食育における保護者、教育関係者等の役割)

第五条 食育は、父母その他の保護者にあつては、家庭が食育において重要な役割を有していることを認識するとともに、子どもの教育、保育等を行う者にあつては、教育、保育等における食育の重要性を十分自覚し、積極的に子どもの食育の推進に関する活動に取り組むこととなるよう、行わなければならない。

(食に関する体験活動と食育推進活動の実践)

第六条 食育は、広く国民が家庭、学校、保育所、地域その他のあらゆる機会とあらゆる場所を利用して、食料の生産から消費等に至るまでの食に関する様々な体験活動を行うとともに、自ら食育の推進のための活動を実践することにより、食に関する理解を深めることを旨として、行わなければならない。

(伝統的な食文化、環境と調和した生産等への配慮及び農山漁村の活性化と食料自給率の向上への貢献)

第七条 食育は、我が国の伝統のある優れた食文化、地域の特性を生かした食生活、環境と調和のとれた食料の生産とその消費等に配慮し、我が国の食料の需要及び供給の状況についての国民の理解を深めるとともに、食料の生産者と消費者との交流等を図ることにより、農山漁村の活性化と我が国の食料自給率の向上に資するよう、推進されなければならない。

(食品の安全性の確保等における食育の役割)

第八条 食育は、食品の安全性が確保され安心して消費できることが健全な食生活の基礎であることにかんがみ、食品の安全性をはじめとする食に関する幅広い情報の提供及びこれについての意見交換が、食に関する知識と理解を深め、国民の適切な食生活の実践に資することを旨として、国際的な連携を図りつつ積極的に行われなければならない。

(国の責務)

第九条 国は、第二条から前条までに定める食育に関する基本理念（以下「基本理念」という）にのっとり、食育の推進に関する施策を総合的かつ計画的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第十条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、食育の推進に関し、国との連携を図りつつ、その地方公共団体の区域の特性を生かした自主的な施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(教育関係者及び農林漁業者等の責務)

第十一条 教育並びに保育、介護その他の社会福祉、医療及び保健（以下「教育等」という。）に関する職務に従事する者並びに教育等に関する関係機関及び関係団体（以下「教育関係者等」という。）は、食に関するあらゆる機会とあらゆる場所を利用して、積極的に食育を推進するよう努めるとともに、他の者の行う食育の推進に関する活動に協力するよう努めるものとする。

2 農林漁業者及び農林漁業に関する団体（以下「農林漁業者等」という。）は、農林漁業に関する体験活動等が食に関する国民の関心及び理解を増進する上で重要な意義を有することにかんがみ、基本理念にのっとり、農林漁業に関する多様な体験の機会を積極的に提供し、自然の恩恵と食に関わる人々の活動の重要性について、国民の理解が深まるよう努めるとともに、教育関係者等と相互に連携して食育の推進に関する活動を行うよう努めるものとする。

(食品関連事業者の責務)

第十二条 食品の製造、加工、流通、販売又は食事の提供を行う事業者及びその組織する団体（以下「食品関連事業者等」という。）は、基本理念にのっとり、その事業活動に関し、自主的かつ積極的に食育の推進に自ら努めるとともに、国又は地方公共団体を実施する食育の推進に関する施策その他の食育の推進に関する活動に協力するよう努めるものとする。

(国民の責務)

第十三条 国民は、家庭、学校、保育所、地域その他の社会のあらゆる分野において、基本理念にのっとり、生涯にわたり健全な食生活の実現に自ら努めるとともに、食育の推進に寄与するよう努めるものとする。

(法制上の措置等)

第十四条 政府は、毎年、国会に、政府が食育の推進に関して講じた施策に関する報告書を提出しなければならない。

第二章 食育推進基本計画等

(食育推進基本計画)

第十六条 食育推進会議は、食育の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、食育推進基本計画を作成するものとする。

2 食育推進基本計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

- 一 食育の推進に関する施策についての基本的な方針
- 二 食育の推進の目標に関する事項
- 三 国民等の行う自発的な食育推進活動等の総合的な促進に関する事項
- 四 前三号に掲げるもののほか、食育の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

3 食育推進会議は、第一項の規定により食育推進基本計画を作成したときは、速やかにこれを内閣総理大臣に報告し、及び関係行政機関の長に通知するとともに、その要旨を公表しなければならない。

4 前項の規定は、食育推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県食育推進計画)

第十七条 都道府県は、食育推進基本計画を基本として、当該都道府県の区域内における食育の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県食育推進計画」という。）を作成するよう努めなければならない。

2 都道府県（都道府県食育推進会議が置かれている都道府県にあっては、都道府県食育推進計画を作成し、又は変更したときは、速やかに、その要旨を公表しなければならない。

(市町村食育推進計画)

第十八条 市町村は、食育基本計画（都道府県食育推進計画が作成されているときは、食育推進基本計画及び都道府県食育推進計画）を基本として、当該市町村の区域内における食育に関する施策についての計画（以下「市町村食育推進計画」という。）を作成するよう努めなければならない。2 市町村（市町村食育推進会議が置かれている市町村にあっては、市町村食育推進会議）は、市町村食育推進計画を作成し、又は変更したときは、速やかに、その要旨を公表しなければならない。

第三章 基本的施策

(家庭における食育の推進)

第十九条 国及び地方公共団体は、父母その他の保護者及び子どもの食に対する関心及び理解を深め、健全な食習慣の確立に資するよう、親子で参加する料理教室その他の食事についての望ましい習慣を学びながら食を楽しむ機会の提供、健康美に関する知識の啓発その他の適切な栄養管理に関する知識の普及及び情報の提供、妊産婦に対する栄養指導又は乳幼児をはじめとする子どもを対象とする発達段階に応じた栄養指導その他の家庭における食育の推進を支援するために必要な施策を講ずるものとする。

(学校、保育所等における食育の推進)

第二十条 国及び地方公共団体は、学校、保育所等において魅力ある食育の推進に関する活動を効果的に促進することにより子どもの健全な食生活の実現及び健全な心身の成長が図られるよう、学校、保育所等における食育の推進のための指針の作成に関する支援、食育の指導にふさわしい教職員の設置及び指導的立場にある者の食育の推進において果たすべき役割についての意識の啓発その他の食育に関する指導体制の整備、学校、保育所等又は地域の特色を生かした学校給食等の実施、教育の一環として行われる農場等における実習、食品の調理、食品廃棄物の再生利用等様々な体験活動を通じた子どもの食に関する理解の促進、過度の痩身又は肥満の心身の健康に及ぼす影響等についての知識の啓発その他必要な施策を講ずるものとする。

(地域における食生活改善のための取組の推進)

第二十一条 国及び地方公共団体は、地域において、栄養、食習慣、食料の消費等に関する食生活の改善を推進し、生活習慣病を予防して健康を増進するため、健全な食生活に関する指針の策定及び普及啓発、地域における食育の推進に関する専門的知識を有する者の養成及び資質の向上並びに啓発活動の推進、医学教育等における食育に関する指導の充実、食品関連事業者等が行う食育推進のための活動への支援等必要な施策を講ずるものとする。

(食育推進運動の展開)

第二十二条 国及び地方公共団体は、国民、教育関係者等、農林漁業者等、食品関連事業者等その他の事業者若しくはその組織する団体又は消費生活の安定及び向上等のための活動を行う民間の団体が自発的に行う食育の推進に関する活動が、地域の特性を生かしつつ、相互に密接な連携協力を図りながらあまねく全国において展開されるようにするとともに、関係者相互間の情報及び意見の

交換が促進されるよう、食育の推進に関する普及啓発を図るための行事の実施、重点的かつ効果的に食育の推進に関する活動を推進するための機関の指定その他必要な施策を講ずるものとする。

2 国及び地方公共団体は、食育の推進に当たっては、食生活の改善のための活動その他の食育の推進に関する活動に携わるボランティアが果たしている役割の重要性にかんがみ、これらのボランティアとの連携協力を図りながら、その活動の充実に図られるよう必要な施策を講ずるものとする。

(生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等)

第二十三条 国及び地方公共団体は、生産者と消費者との間の交流の促進等により、生産者と消費者との信頼関係を構築し、食品の安全性の確保、食料資源の有効な利用の促進及び国民の食に対する理解と関心の増進を図るとともに、環境と調和のとれた農林漁業の活性化に資するため、農林水産物の生産、食品の製造、流通等における体験活動の促進、農林水産物の生産された地域内の学校給食等における利用その他のその地域内における消費の促進、創意工夫を生かした食品廃棄物の発生の抑制及び再生利用等必要な施策を講ずるものとする。

(食文化の継承のための活動への支援等)

第二十四条 国及び地方公共団体は、伝統的な行事や作法と結びついた食文化、地域の特色ある食文化等我が国の伝統のある優れた食文化の継承を推進するため、これらに関する啓発及び知識の普及その他の必要な施策を講ずるものとする。

(食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進)

第二十五条 国及び地方公共団体は、すべての世代の国民の適切な食生活の選択に資するよう、国民の食生活に関し、食品の安全性、栄養、食習慣、食料の生産、流通及び消費並びに食品廃棄物の発生及びその再生利用の状況等について調査及び研究を行うとともに、必要な各種の情報の収集、整理及び提供、データベースの整備その他食に関する正確な情報を迅速に提供するために必要な施策を講ずるものとする。

2 国及び地方公共団体は、食育の推進に資するため、海外における食品の安全性、栄養、食習慣等の食生活に関する情報の収集、食育に関する研究者等の国際的交流、食育の推進に関する活動についての情報交換その他国際交流の推進のために必要な施策を講ずるものとする。

第四章 食育推進会議等

(食育推進会議の設置及び所掌事務)

第二十六条 内閣府に、食育推進会議を置く。

- 2 食育推進会議は、次に掲げる事務をつかさどる。
 - 一 食育推進基本計画を策定し、及びその実施を推進すること。
 - 二 前号に掲げるもののほか、食育の推進に関する重要事項について審議し、及び食育の推進に関する施策の実施を推進すること。

(組織)

第二十七条 食育推進会議は、会長及び委員二十五人以内をもって組織する。

(会長)

第二十八条 会長は内閣総理大臣をもって充てる

- 2 会長は、会務を総理する
- 3 会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

(委員)

第二十九条 委員は、次に掲げる者をもって充てる。

- 一 内閣府設置法（平成十一年法律第八十九号）第九条第一項に規定する特命担当大臣であつて、同項の規定により命を受けて同法第四条第一項第十七号に掲げる事項に関する事務及び同条第二十七号の三に掲げる事務を掌理するもの（次号において「食育担当大臣」という。）
 - 二 食育担当大臣以外の国务大臣のうちから、内閣総理大臣が指定する者
 - 三 食育に関して十分な知識と経験を有する者のうちから、内閣総理大臣が任命する者
- 2 前項第三号の委員は、非常勤とする。

(委員の任期)

第三十条 前条第一項第三号の委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 前条第一項第三号の委員は、再任されることができる。

(政令への委任)

第三十一条 この章に定めるもののほか、食育推進会議の組織及び運営に関し必要な事項は、政令で定める。

(都道府県食育推進会議)

第三十二条 都道府県は、その都道府県の区域における食育の推進に関して、都道府県食育推進計画の作成及びその実施の推進のため、条例で定めるところにより、都道府県食育推進会議を置くことができる。

2 都道府県食育推進会議の組織及び運営に関し必要な事項は、都道府県の条例で定める。

(市町村食育推進会議)

第三十三条 市町村は、その市町村の区域における食育の推進に関して、市町村食育推進計画の作成及びその実施の推進のため、条例で定めるところにより、市町村食育推進会議を置くことができる。

2 市町村食育推進会議の組織及び運営に関し必要な事項は、市町村の条例で定める。

付則

(施行期日)

第一条 この法律は、公布の日から起算して一月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

(内閣府設置法の一部改正)

第二条 内閣府設置法の一部を次のように改正する。

第四条第一項に次の一号を加える。

十七 食育の推進を図るための基本的な政策に関する事項

第四条第三項第二十七号の二の次に次の一号を加える。

二十七の三 食育推進基本計画（食育基本法（平成十七年法律第六十三号）第十六条第一項に規定するものをいう。）の作成及び推進に関すること。

第四十条第三項の表中「少子化社会対策会議 少子化社会対策基本法」を

「食育推進会議

食育基本法

少子化社会対策会議

少子化社会対策基本法」に改める。

食育推進計画のポイント

はじめに

- 計画期間は平成18年度から22年度までの5年間

第1 食育の推進に関する施策についての基本的な方針

1. 国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成
2. 食に関する感謝の念と理解
3. 食育推進運動の展開
4. 子どもの食育における保護者、教育関係者等の役割
5. 食に関する体験活動と食育推進活動の実践
6. 伝統的な食文化、環境と調和した生産等への配慮及び農山漁村の活性化と食料自給率の向上への貢献
7. 食品の安全性の確保等における食育の役割

第2 食育の推進の目標に関する事項

1. 食育に関心を持っている国民の割合 (70%→90%)
2. 朝食を欠食する国民の割合 (子ども4%→0%、20代男性30%→15%、その他)
3. 学校給食における地場産物を使用する割合 (21%→30%)
4. 「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている国民の割合 (60%)
5. 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)を認知している国民の割合 (80%)
6. 食育の推進に関わるボランティアの数 (20%増)
7. 教育ファームの取組がなされている市町村の割合 (42%→60%)
8. 食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている国民の割合 (60%)
9. 推進計画を作成・実施している自治体の割合 (都道府県100%、市町村50%)

第3 食育の総合的な促進に関する事項

1. 家庭における食育の推進
2. 学校、保育所等における食育の推進
3. 地域における食生活改善のための取組の推進
4. 食育推進運動の展開 (食育月間 (毎月6月)、食育の日 (毎月19日))
5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等
6. 食文化の継承のための活動への支援等
7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進

第4 食育の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 都道府県等による推進計画の策定促進、基本計画の見直し等

資料8 食生活指針

「食生活指針」とは

10項目から構成される食生活に関する基本的な指針。平成12年3月、当時の文部省、厚生省、農林水産省が、国民の健康の増進、生活の質の向上及び食料の安定供給の確保を図るために策定したもの。

- 食事を楽しみましょう
 - ・ 心とからだにおいしい食事を、味わって食べましょう。
 - ・ 毎日の食事で、健康寿命をのばしましょう。
 - ・ 家族の団らんや人との交流を大切に、また、食事づくりに参加しましょう。
- 1日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを
 - ・ 朝食で、いきいきした1日を始めましょう。
 - ・ 夜食や間食はとりすぎないようにしましょう。
 - ・ 飲酒はほどほどにしましょう。
- 主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを
 - ・ 多様な食品を組み合わせましょう。
 - ・ 調理方法が偏らないようにしましょう。
 - ・ 手作りや外食や加工食品・調理食品を上手に組み合わせましょう。
- ごはんなどの穀類をしっかり
 - ・ 穀類を毎食とって、糖質からのエネルギー摂取を適正に保ちましょう。
 - ・ 日本の気候・風土に適している米などの穀類を利用しましょう。
- 野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚なども組み合わせて
 - ・ たっぷり野菜と毎日の果物で、ビタミン、ミネラル、食物繊維をとりましょう。
 - ・ 牛乳・乳製品、緑黄色野菜、豆類、小魚などで、カルシウムを十分にとりましょう。
- 食塩や脂肪は控えめに
 - ・ 塩辛い食品を控えめに、食塩は1日10g未満にしましょう。
 - ・ 脂肪のとりすぎをやめ、動物、植物、魚由来の脂肪をバランスよくとりましょう。
 - ・ 栄養成分表示を見て、食品や外食を選ぶ習慣を身につけましょう。
- 適正体重を知り、日々の活動に見合った食事量を
 - ・ 太ってきたかなと感じたら、体重を量りましょう。
 - ・ 普段から意識して身体を動かすようにしましょう。
 - ・ 美しさは健康から。無理な減量はやめましょう。
 - ・ しっかりかんで、ゆっくり食べましょう。
- 食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も
 - ・ 地域の産物や旬の食材を使うとともに、行事食を取り入れながら、自然の恵みや四季の変化を楽しみましょう。
 - ・ 食文化を大切にして、日々の食生活に活かしましょう。
 - ・ 食材に関する知識や料理技術を身につけましょう。
 - ・ ときには新しい料理を作ってみましょう。
- 調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なく
 - ・ 買いすぎ、作りすぎに注意して、食べ残しのない適量を心がけましょう。
 - ・ 賞味期限や消費期限を考えて利用しましょう。
 - ・ 定期的に冷蔵庫の中身や家庭内の食材を点検し、献立を工夫して食べましょう。
- 自分の食生活を見直してみよう
 - ・ 自分の健康目標をつくり、食生活を点検する習慣を持ちましょう。
 - ・ 家族や仲間と、食生活を考えたり、話し合ったりしてみましょう。
 - ・ 学校や家庭で食生活の正しい理解や望ましい習慣を身につけましょう。
 - ・ 子どものころから、食生活を大切にしましょう。

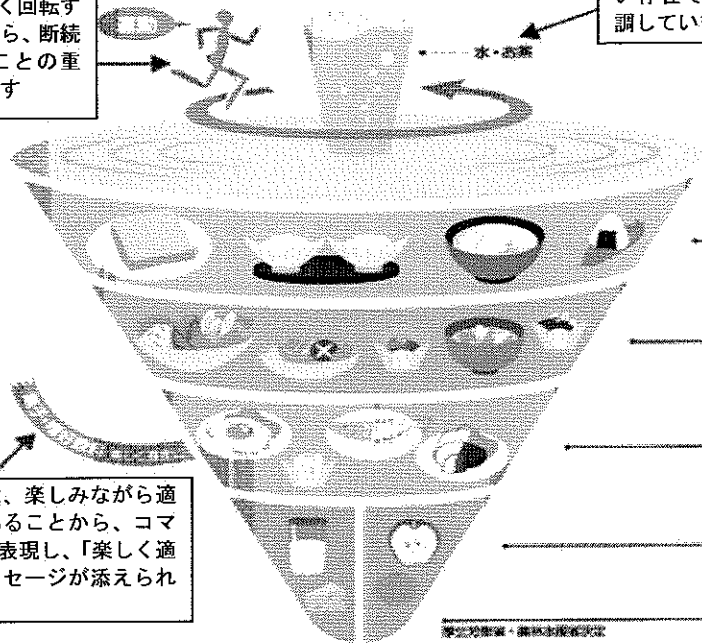
(平成12年3月24日閣議決定)

資料9. 食事バランスガイド

食事バランスガイド あなたの食事は大丈夫？

イラストは、コマをイメージして描かれており、食事のバランスが悪くなると、倒れてしまうことと、規則正しく回転するコマの連想から、断続的に運動することの重要性も表現します

水・お茶はコマの軸とし、食事の中で欠かせない存在であることを強調しています



菓子・嗜好飲料は、楽しみながら適度に摂る必要があることから、コマを回すヒモとして表現し、「楽しく適度に」というメッセージが添えられています

5-7 主食(ごはん、パン、麺)
つ(SV) ごはん(中盛り)だったら4杯程度

5-6 副菜(野菜、きのこ、いも、海藻料理)
つ(SV) 野菜料理5皿程度

3-5 主菜(肉、魚、卵、大豆料理)
つ(SV) 肉・魚・卵・大豆料理から3皿程度

2 牛乳・乳製品
つ(SV) 牛乳だったら1本程度

2 果物
つ(SV) みかんだったら2個程度

厚生労働省・農林水産省提供

「食事バランスガイド」とは、健康づくりの観点から、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかという適量を料理区分(主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物)別に、おおよその量イラストで示したものです。「対象特性別」料理区分における摂取の目安を参考に、自分自身の料理区分別のおおよその量を知り、毎日の食事を考えて見ましょう。

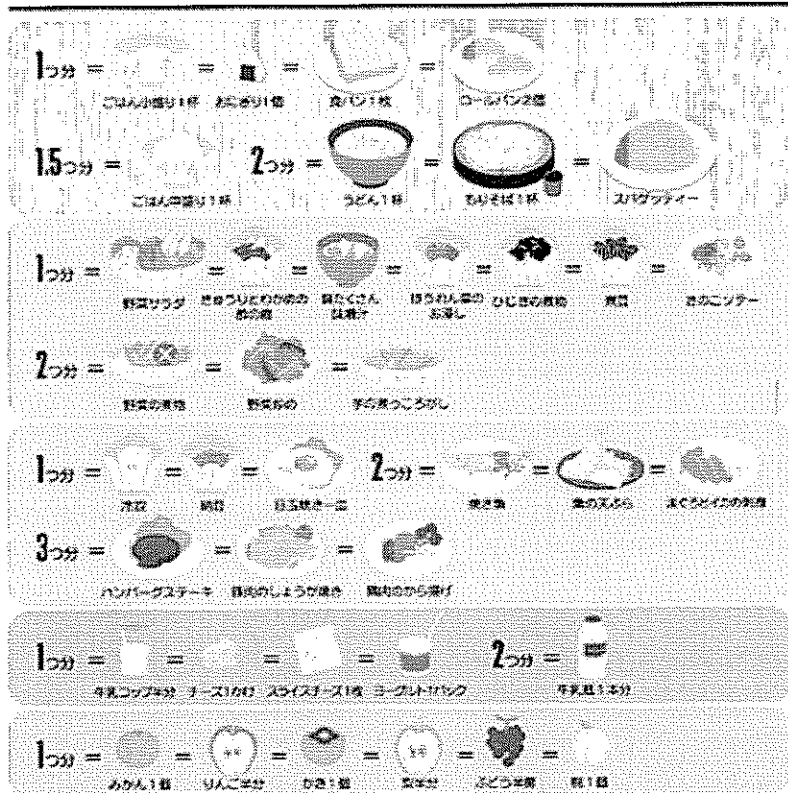
5-7 主食(ごはん、パン、麺)
つ(SV) ごはん(中盛り)だったら4杯程度

5-6 副菜(野菜、きのこ、いも、海藻料理)
つ(SV) 野菜料理5皿程度

3-5 主菜(肉、魚、卵、大豆料理)
つ(SV) 肉・魚・卵・大豆料理から3皿程度

2 牛乳・乳製品
つ(SV) 牛乳だったら1本程度

2 果物
つ(SV) みかんだったら2個程度



※SVとはサービング(食事の提供量の単位)の略

四條畷市食育推進計画

発行日 : 平成 21 年 3 月

発 行 : 四條畷市

〒575-8501

四條畷市中野本町 1 番 1 号

TEL 072-877-2121 (代表)

編 集 : 四條畷市健康福祉部 保健センター